

eコミマップ

地図管理マニュアル

Ver. 2.4.1

2015/06/30

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

目次

1	はじめに	1
2	システムの説明	1
3	操作マニュアル	2
3.1	サイト管理画面	2
(1)	管理画面メニュー	4
(2)	項目一覧	5
(3)	マップ一覧	7
(4)	設定	10
(5)	グループ問い合わせ先情報編集画面	13
(6)	グループ管理	14
(7)	ユーザ管理	16
(8)	ウィジェット管理	17
(9)	公開用一覧パーツ	17
(10)	公開サーバ設定	19
(11)	利用状況	23
3.2	マップ設定画面	25
(1)	マップ地図情報設定	25
(2)	レイアウト設定	27
(3)	更新通知設定	29
(4)	更新通知条件編集	30
(5)	登録情報項目設定	31
(6)	登録情報項目編集	34
(7)	属性設定	35
(8)	描画設定(アイコン)	36
(9)	描画設定(ラベル)	38
(10)	描画設定(線)	39
(11)	描画設定(面)	40
(12)	色設定	41
(13)	属性による描画切替	41
(14)	SLD 編集	42
(15)	共通項目設定	43
(16)	主題図項目編集	44
(17)	主題図項目編集画面	47
(18)	主題図(画像)レイヤ設定	49
(19)	主題図(画像)項目編集	52
(20)	基本地図項目設定	54
(21)	基本地図項目編集	60
(22)	クリアリングハウス検索 地図一覧	62
(23)	クリアリングハウス検索 メタデータ表示	63
(24)	クリアリングハウス検索 地図追加	64
3.3	システム管理画面	66

1 はじめに

本マニュアルは、e コミマップの管理方法についての取扱説明書であり、システムおよびサイトで管理者権限を持つユーザを対象とします。

e コミマップの管理画面を利用するには、事前に e コミマップのインストールを行い、管理権限でログインできる状態にする必要があります。

2 システムの説明

e コミマップは、地域の防災情報等を地図上に登録し、地域の防災マップの作成を行い、地域住民の防災対策の検討と実施を支援するためのシステムです。

e コミマップの管理画面は、管理用のページへのログインすることで利用が可能です。

e コミグループウェアと連携した運用を行う場合は、システム管理者権限で、サイトの連携設定を行い、連携したユーザに管理者権限を設定する必要があります。

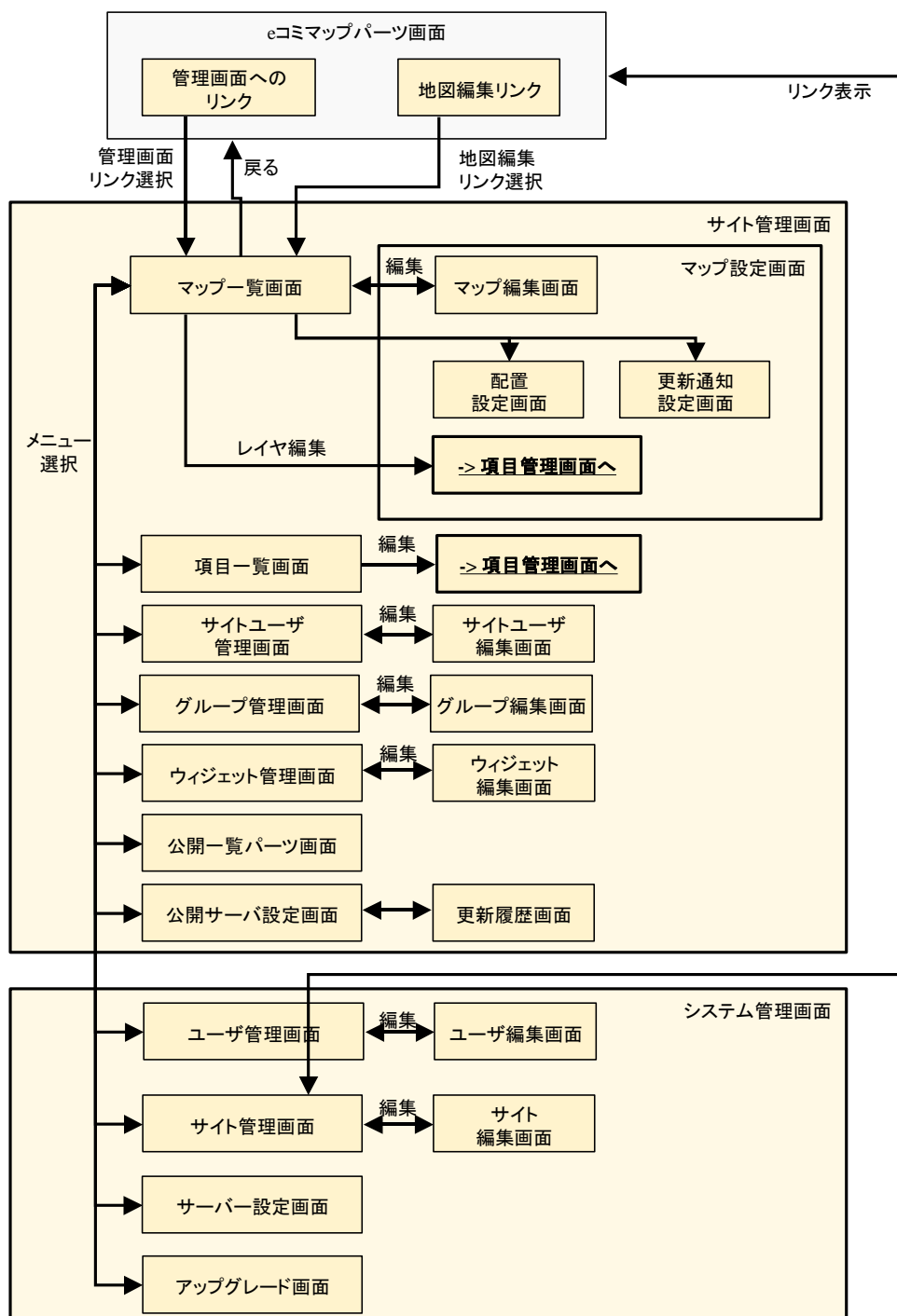
3 操作マニュアル

本章では、作成した地図を管理するための画面についての説明を行います。

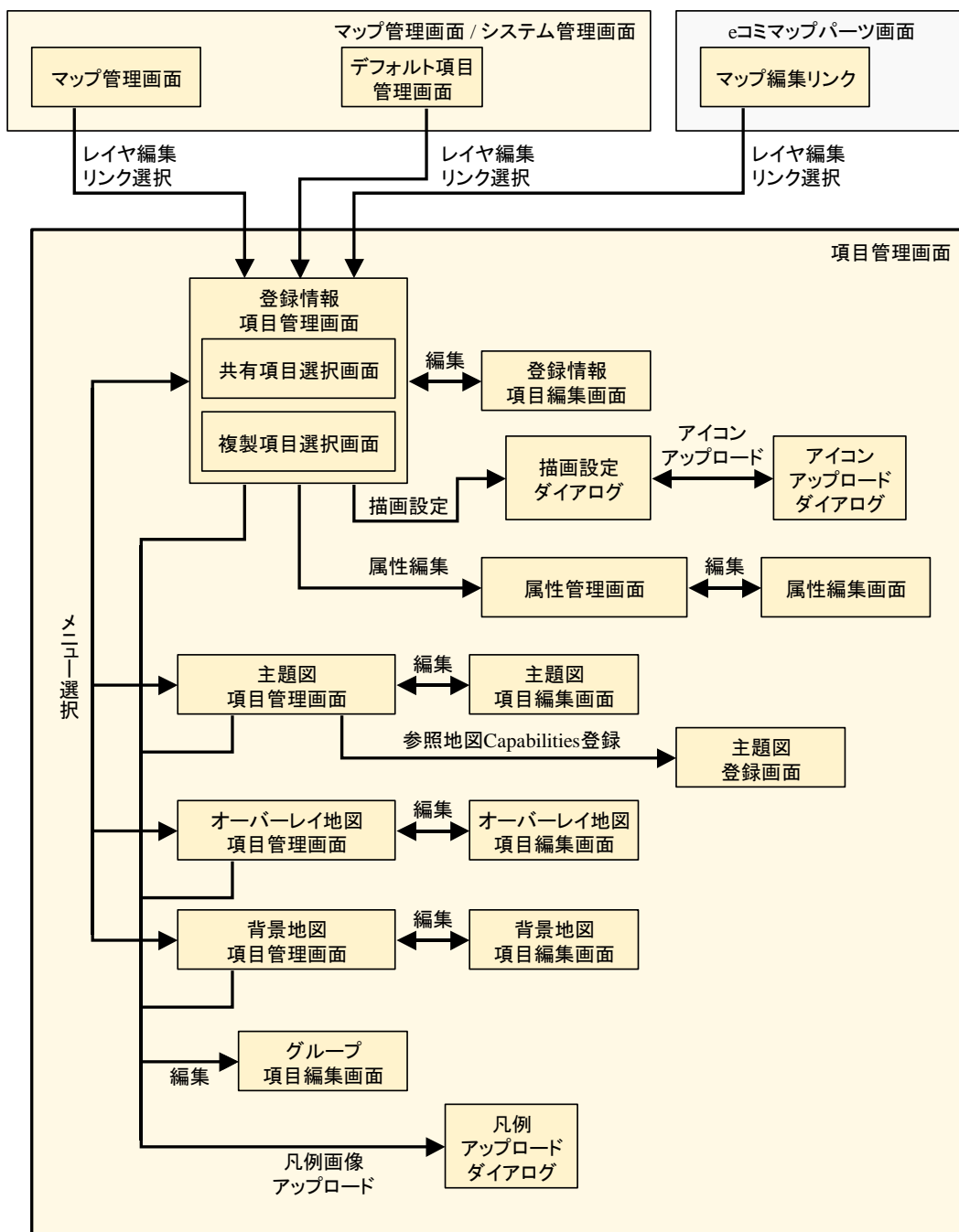
3.1 サイト管理画面

サイト管理画面は、サイト内の項目や地図やユーザの設定を行う画面です。

地図管理画面 / システム管理画面 画面遷移



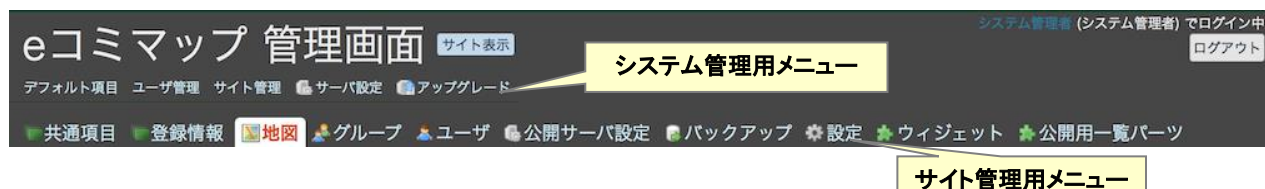
項目管理画面 画面遷移



(1) 管理画面メニュー

管理画面の各画面は、画面上部のメニューを選択することで表示します。

システム管理用のメニューの列とサイト管理用のメニューの列で構成されています。



サイト管理用メニュー

メニュー	説明
共通項目	サイト内で共通で利用する項目を設定します。
登録情報	サイトまたはグループに所属する登録情報項目を一覧で管理します。
マップ	サイトまたはグループに所属するマップを一覧で管理します。
グループ	サイト内のグループを管理します。
ユーザ	サイトのユーザの作成と、ユーザのグループ権限を管理します。
公開サーバ設定	データ連携機能を利用するための設定を行います。
バックアップ	サイト内の地図データのバックアップと復元を行います。
設定	サイトの設定を行います。
ウィジェット	サイト内で利用するウィジェットの設定を行います。
公開用一覧パーツ	外部サイトで利用可能なサイト内の項目一覧またはマップ一覧パーツを表示します。

システム管理用メニュー

システム管理者権限の場合のみ表示されます。

メニュー	説明
デフォルト項目	すべてのサイトで共通な項目を設定します。背景地図等の追加を簡略化するために設定します。
ユーザ管理	サーバ内のすべてのユーザを一覧表示して管理します。
サイト管理	サーバ内のすべてのサイトを一覧で管理します。
サーバ設定	サーバ全体の設定を行います。
アップグレード	アップグレードパッケージ適用後の DB アップグレードを行います。

(2) 登録情報

サイトに登録されている登録情報項目の一覧を表示し、項目の管理、新規項目の追加、公開範囲の設定を行います。

公開範囲設定
項目を公開する範囲を一括設定します

凡例初期化
項目の凡例をサーバから再取得して初期化します

グループ変更
項目が所属するグループを一括変更します

項目設定メニュー
項目設定、属性設定、ログ確認の各画面へのリンク、描画設定ダイアログの表示ボタン、削除リンクが表示されます

項目一覧

サイト内で登録されている登録情報項目がグループ毎に、凡例、名称、所有者、作成日時、形状、縮尺が一覧表示されます
項目名の下に項目を利用しているマップが一覧表示されます
他のグループに公開している場合は所有者の下に公開範囲が表示されます

項目を新規追加

項目を新規に作成してサイトに追加します。

追加先グループ: サイト全体

項目名称 (日本語表示名): 凡例や検索時に表示される項目名称です。内部的なIDは自動的に割り振られます。

項目説明

最小表示縮尺: 0
この項目を表示するのに標準的な縮尺 (拡大にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)

最大表示縮尺: 0
項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。 (0=制限無し)

形状: 点
項目のデータ形状を選択してください。

項目の著作者情報: 項目表示時にマップ右下に表示する著作者情報のクレジット文字列
リンクする場合は a タグでリンクを記述

項目を追加

項目を新規追加

登録情報項目を新規に作成してグループに追加します
地図で表示する場合は別途地図に追加する必要があります

1. 項目一覧

項目の ID と凡例、項目名、所有者、作成日時、形状、表示縮尺を表示し、項目を利用しているマップ、公開範囲の一覧が表示されます。

先頭のチェックボックスは、公開範囲とグループと凡例初期化の一括設定に利用します。

「メタデータ」地図のメタデータの参照や編集のダイアログを表示します。

2. 項目設定メニュー

- ・ 「項目設定」 項目設定画面を表示し、項目の設定を変更します。
- ・ 「属性設定」 属性設定画面を表示し、項目内の属性を設定します。
- ・ 「ログ確認」 ログ確認画面を表示し、項目の更新ログを確認します。
- ・ 「描画設定」 描画設定画面を表示し、項目の描画設定を行います。
- ・ 「削除」 マップを削除します。

(3) マップ一覧

サイトに登録されているマップの一覧を表示し、マップの管理、新規マップの追加を、公開範囲の設定を行います。

公開範囲設定
マップを公開する範囲を一括設定します

グループ変更
マップが所属するグループを一括変更します

マップの新規作成
地図の名称、説明、表示範囲を指定してレイヤを持たない地図をサイトに追加します

マップ一覧
サイト内で登録されている地図が一覧表示されます。他のグループに公開している場合は公開範囲が表示されます

公開範囲とメタデータ
公開範囲の設定と解除および、メタデータの参照・編集ができます

マップ設定メニュー
マップの設定、項目設定、配置設定、通知設定、MGRS 設定、削除のメニューリンクが表示されます

地図設定
サイト内で利用するマップの管理、マップの新規作成を、項目管理から行います。

公開範囲: インターネット | マップを公開 | グループ変更: サイト全体 | グループ変更

グループ絞り込み: 個人グループ: デモユーザ | 地図を検索: [検索]

グループ名	ID	地図名称	状態	作成日時	マップ設定	その他設定	MGRS設定	地図削除
個人グループ: デモユーザ	405	まちあるきマップ2	編集	2013年11月19日 17:14:19	マップ設定	配置設定	表示 非表示	削除
		公開範囲設定(項目含む)	デモユーザ	2013年11月19日 17:14:20	項目一覧	通知設定		
		メタデータ						
		インターネット公開停止						

地図を新規作成
マップを新規に作成してサイトに追加します。

[↓表示]

1. マップ一覧

マップの ID とタイトル、公開範囲と、マップの状態と作成更新日時を表示します。先頭のチェックボックスは、公開範囲とグループの一括設定に利用します。

「公開範囲設定（項目含む）」地図と地図内の項目の公開範囲の設定ができます。

「メタデータ」地図のメタデータの参照や編集のダイアログを表示します。

2. マップ設定メニュー

- ・ 「マップ設定」登録済みのマップの設定を変更します。
- ・ 「項目一覧」マップ内のレイヤの編集、新規レイヤの追加を行います。
- ・ 「配置設定」マップの地図画面のレイアウトの設定を行います。
- ・ 「通知設定」マップの更新時のメール通知条件の設定を行います。
- ・ 「MGRS 設定」マップの MGRS グリッド表示機能利用可否の設定を行います。
- ・ 「削除」マップを削除します。

(4) メタデータ参照

マップの公開設定用に作成したメタデータを参照する画面を表示します。

メタデータ参照

test1 メタデータ参照

地図データに関する情報

地図データのタイトル	test1
地図データの作成状況	完成
地図データの内容の要約	test1
地図データが作成された目的	

メタデータに関する情報


公開状態	
メタデータの登録先設定	災害時クリアリングハウス
メタデータの登録状況	未登録
対象となる災害区分	
メタデータの作成日付	2014-11-19
一意なファイル識別子	http://server.domain.com/map/wms?mid=10&REQUEST=GetMetadata


メタデータに関する問い合わせ先情報


問い合わせ先名称	test1
----------	-------

マップに登録されている項目の情報を表示し、項目のメタデータの参照を行います。

項目一覧

 point1

 line1

 polygon1

メタデータ

メタデータ

項目のメタデータを参照します。

(5) メタデータ編集

編集権限がある場合はメタデータの編集とクリアリングハウスへの登録を行うことができます。

新規作成テスト: メタデータ編集画面

簡易モード
詳細モード

メタデータの編集モードを選択します

地図データに関する情報

地図データのタイトル

新規作成テスト

地図データの作成状況

予定

地図データの内容の要約

地図データが作成された目的

メタデータに関する情報

公開状態

公開

クリアリングハウスに登録したメタデータの公開範囲を設定します。ログインユーザはクリアリングハウスにログインしたユーザに対して公開します。グループユーザはクリアリングハウスの同グループのユーザに対して公開します。

平常時クリアリングハウスURL

http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService?

災害時クリアリングハウスURL

http://ch-test.bosai-cloud.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService?

メタデータの登録先設定

平常時クリアリングハウス

メタデータの登録先を設定します。災害時クリアリングハウスを選択する事で、地図データの作成状況で「予定」が選択されます。

メタデータの登録状況

未登録

対象となる災害区分

メタデータの作成日付

2014/06/16

一意なファイル識別子

http://maptest-200.digitalearth-lab.net/map/metadatas/33.xml

メタデータに関する問い合わせ先情報

地図データの地理範囲に関する情報

地図データのアクセスに関する情報

メタデータ更新

メタデータ初期化

メタデータの更新・初期化を行います

グループの問い合わせ先設定画面へ移動

グループの問い合わせ先設定画面へ移動

地図の公開範囲

全てのグループで閲覧可

サイト全体

メタデータの登録状況

未登録

平常時クリアリングハウス登録

平常時クリアリングハウス登録解除

登録したメタデータを選択したクリアリングハウスに登録します

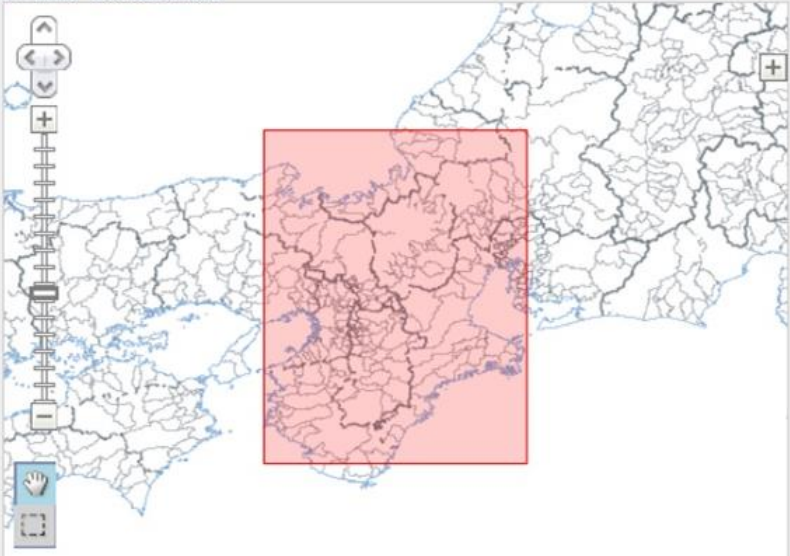
(6) 設定

設定画面では、サイトの基本的な設定と詳細な設定を行います。



e-Com Mapの設定

サイト言語、サイトの名称、ポータルサイトの URL、範囲を設定します

サイト言語	日本語 ▼
サイト名 (日本語表示名)	e-Com Map IDは自動的に割り振られます。
サイトURL	http://192.168.100.175/map/ サイトのトップページのURL このサイトのユーザはマップの新規作成と編集可能なマップへの情報の登録が可能になります。
サイト範囲	<div>北: 36.00856 西: 135.0499 東: 136.93955 南: 33.61354 マップの新規作成時に初期範囲として利用します。(経度-180~180 緯度-90~90 の度単位) [× Close] [入力範囲を表示]</div>  <div>住所: <input type="text"/> 表示</div>

初期表示位置の設定	首都圏 上へ 下へ 編集 追加 削除	初期表示範囲の設定を行います
背景地図	OpenStreetMap ▼	項目表示時の初期背景地図を設定します。

Geocoder	<input type="radio"/> サーバの設定にしたがう() <input type="radio"/> Googleジオコーダー <input type="radio"/> サーバ内のジオコーダー (/geocoder/json?) <input type="radio"/> 外部のジオコーダー (http://example.com/geocoder/json?) URL:	ジオコーダーの設定を行います
標高値表示	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	標高値表示の設定を行います
MGRSコード表示	<input type="checkbox"/> 表示する	MGRSコード表示の設定を行います

初期表示範囲の設定では、下記ダイアログが表示されます。

表示範囲設定

範囲名:

北: 36.84132

西: 139.58505

東: 140.55185

南: 36.05031

住所:

表示

追加

閉じる

初期表示範囲の範囲名を設定します。

初期表示範囲の設定を行います

サイトオプション設定では、詳細なサイトの設定を行います。
 平常時と災害時のクリアリングハウス設定を行います。

サイトオプション設定		
広域地図WMSサーバ(URL)	広域地図に利用するWMSサーバのURLを設定します。 (BBOX,WIDTH,HEIGHT以外はURLのパラメータに記述する必要有り) <input type="radio"/> 基礎地図25000 <input type="radio"/> OpenStreetMapを利用する(メルカトル投影のみ) <input checked="" type="radio"/> その他WMS	広域図を変更する場合に WMS サーバの URL を設定します
初期属性	<pre>[{name:"名称",dataType:12,length:20}]</pre> 項目新規追加時に自動で設定される属性を指定します。 JSON配列形式 (dataTypeは 文字=12, 数値(整数)=4, 数値=6, 選択=11000) <pre>[{name:"文字属性名",dataType:12,length:文字数},{name:"整数属性名",dataType:4,length:文字数},{name:"選択属性名",dataType:11000,dataE</pre>	項目新規作成時に追加される 属性を設定します
地図画面ヘッダHTML	アクセス解析等のコードを地図画面のHTMLヘッダに埋め込む場合に設定します。	地図画面の HTML ヘッダに埋 め込むアクセス解析等のコード を設定します
携帯サイトパス	mobile 携帯電話用サイトパスを設定します。(デフォルト mobile)	携帯電話用サイトのプログラム を切り換える場合に利用します
サイト内地図投影法	メルカトル図法(EPSC:900913) サイト内の地図の表示座標系を指定します。	地図表示時の投影法を設定します レイヤによってはメルカトルのみが 利用可能な物があります
タイルサイズ	地図のタイルサイズを変更する場合に設定します。デフォルトは256	特殊なタイルサイズと縮尺の地 図を利用する場合に設定します ※通常は設定しません
表示縮尺 (カンマ区切り)	地図の表示縮尺を設定します。デフォルトはOGCの標準タイル解像度	
ズームレベル制限	地図の広域側のズームレベルを制限します。デフォルトは5	地図画面の広域表示時のズー ムレベルを制限します
APIアプリケーションキー	現在のアプリケーションキー : APIアプリケーションキーは未設定です <input type="checkbox"/> アプリケーションキーを再作成する。 外部アプリケーションがこのサイトのAPIにアクセスする際に必要なキーを作成します。 チェックを入れると自動的に乱数文字列が生成されます。	APIで利用するキーを生成 します
eコミマップ2.0.0テストの設定を更新		
クリアリングハウス設定		
平常時クリアリングハウス設定		
クリアリングハウス サーバ(URL)	http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService? 地図を検索するためのクリアリングハウスサーバのURLを設定します。 CSW type: Nied ClearingHouse	地図追加時に利用する平常時クリア リングハウスサーバの URL を設定 します
eコミマップ登録用クリアリングハウス サーバ(URL)	http://ch-test.bosai-cloud.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService? eコミマップを登録・検索するためのクリアリングハウスサーバのURLを設定します。	e コミマップで作成した地図を登録・検 索するための平常時クリアリングハウ スサーバの URL を設定します
災害時クリアリングハウス設定		
eコミマップ登録用クリアリングハウス サーバ(URL)	http://ch-test.bosai-cloud.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService? eコミマップを登録・検索するためのクリアリングハウスサーバのURLを設定します。	
クリアリングハウスの設定更新		地図追加時に利用する災害時クリア リングハウスサーバの URL を設定 します

サイトの問い合わせ先編集

あらかじめサイトのメタデータ問い合わせ先を編集します。
登録したメタデータの問い合わせ先は、メタデータ作成時に自動的に入力されます。

問い合わせ先名称	テスト
郵便番号	000-0000
都道府県	愛知県
市区町村名	名古屋市
住所	中区一丁目
電話番号	000-0000-0000
メールアドレス	test.sample@sample.com
URLを入力	http://sample.com/sample

問い合わせ先更新

メタデータの問い合わせ先情報に入力されるサイトの問い合わせ先情報を入力します。

(5) グループ問い合わせ先情報編集画面

ユーザの所属するグループごとに問い合わせ先情報の入力を行います。あらかじめ入力することで、メタデータ作成時に問い合わせ先情報の入力に使用されます。

グループの問い合わせ先編集

あらかじめグループのメタデータ問い合わせ先を編集します。
登録したメタデータの問い合わせ先は、メタデータ作成時に自動的に入力されます。

問い合わせ先名称	テスト2
郵便番号	111-1111
都道府県	愛知県
市区町村名	名古屋市
住所	中区一丁目
電話番号	222-2222-2222
メールアドレス	test.sample111@sample.com
URLを入力	http://sample2233.com/sample

問い合わせ先更新 問い合わせ先初期化 閉じる

メタデータの問い合わせ先情報に入力されるユーザグループの問い合わせ先情報を入力します。

問い合わせ先情報の更新、初期化を行います。

(6) グループ管理

グループ管理画面では、サイト内のグループの管理を行います。

グループの新規作成と、作成済みグループの名称の変更、利用の停止、削除を行うことが可能です。

The screenshot displays the 'eComiMap 管理画面' (eComiMap Management Screen) with the 'グループ' (Group) tab selected. The interface shows a list of groups on the left and a detailed view of the selected group 'A課' on the right. The detailed view includes a table of users belonging to the group and buttons for managing the group.

グループ一覧 (Group List)

ID	グループ名称	状態	設定	利用停止	削除
1	A課	利用中	設定	停止する	削除

このグループに属しているユーザー一覧 (List of users belonging to this group)

ユーザID	ユーザ名	権限名	
admin	システム管理者	グループ管理者	
takemi	健美	編集者	
hayashi	林	グループ管理者	除外
kondo	近藤	利用者	除外
nohara	野原	利用者	除外

左のグループ一覧ツリーでグループ名をクリックすることで、右側にグループの情報と、グループに所属しているユーザー一覧が表示されます。

グループの情報部分では、グループ名称をクリックすることで、そのグループの地図一覧画面を表示できます。また、設定をクリックすることで、グループ設定画面へ遷移します。

グループ管理

グループを設定

グループ名	<input type="text" value="A課"/> ※必須項目
グループ説明	<input type="text"/>
初期表示範囲	<div> <div>北: 36.87648</div> <div>西: 133.79306 東: 137.30869</div> <div>南: 32.56984</div> </div> <div> マップの新規作成時に初期範囲として利用します。(経度 -180~180 緯度 -90~90) [入力範囲を表示] </div> <div> </div> <div> 住所: <input type="text"/> <div>141.12883, 37.37453</div> <div>表示</div> </div>
背景地図	<input type="text" value="電子国土"/>

グループを更新

グループ内で項目を表示する際の初期表示位置を設定します。

グループ内で項目を表示する際の初期背景地図を設定します。

(7) ユーザ管理

ユーザ管理画面では、サイトに登録されるユーザの管理を行います。

ユーザの新規作成及び他のサイトで作成済みのユーザの追加が可能です。

作成済みのユーザは、名称等の変更、グループの権限の設定、ユーザの削除を行うことが可能です。

グループには、ユーザが所属する「グループ名（権限名）」で表示され、複数ある場合は、10 件まで表示されます。



サイトユーザ

ユーザ検索:							検索	
1 - 5/9 項目							5 10 50 すべて	
<input type="checkbox"/>	ID	ログインID	ユーザー名	メールアドレス	利用者権限	グループ	サイト内のユーザー一覧	
<input type="checkbox"/>	4	inaba	稲葉		利用者		設定	除外
<input type="checkbox"/>	5	negishi	根岸		利用者		設定	除外
<input type="checkbox"/>	6	ando	安藤		利用者		設定	除外
<input type="checkbox"/>	7	watanabe	渡辺		利用者		設定	除外
<input type="checkbox"/>	9	kondo	近藤		利用者	A課	設定	除外

グループユーザ追加: A課 に

他のサイトのユーザを追加 [↑隠す]

登録済みのユーザをこのサイトに追加します。

ログインID 他サイトのユーザから追加するログインIDを入力します。

ユーザ権限 サイト内のユーザ権限を選択してください。

ユーザを新規に作成 [↑隠す]

新規にユーザを作成してサイトに追加します。

ログインID サイトポータルへのログイン時のID

ユーザー名 (日本語表示名) ※必須項目

ユーザ権限 サイト内のユーザ権限を選択してください。

メールアドレス メールアドレス

携帯メール 携帯電話メールアドレス

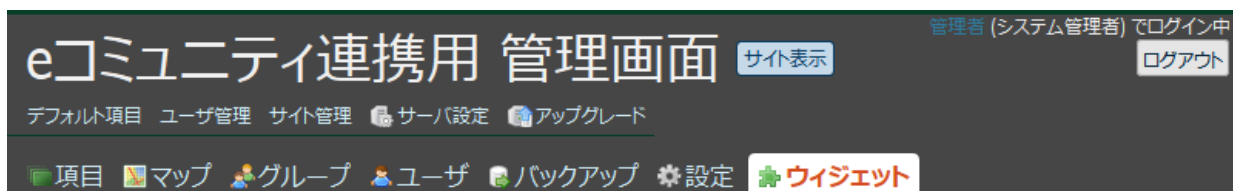
パスワード 認証用パスワード (サイト連携時は未使用)

パスワード (確認用) 認証用パスワードの確認のため同じ物を入力してください

(8) ウィジェット管理

サーバ上にウィジェット用のファイルが設置されている場合、ウィジェットの有効・無効をサイトごとに設定するための画面です。

既に地図画面で利用されているウィジェットを無効にした場合は、地図画面に表示されず利用できなくなります。



ウィジェット管理

ウィジェットID 説明 / 作成者	ウィジェット名称	表示名	バージョン	状態	設定	表示位置	表示順
memo	メモ描画	メモ描画	1.0	有効	無効化	凡例上	↑ ↓
マップ上に自由に形状を描画するための編集パネルウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
overview	広域図	広域図	1.0	有効	無効化	サイドバー	↑ ↓
広域図を表示するウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
mapinfo	マップ情報	マップ情報	1.0	有効	無効化	サイドバー	↑ ↓
マップの説明や相互運用情報および携帯電話向けの情報の表示を行うウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
location	マップ表示ブックマーク	マップ表示ブックマーク	1.0	有効	無効化	サイドバー	↑ ↓
マップの表示位置や表示状態をブックマークとして保存するウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
measure	距離面積計測	距離面積計測	1.0	有効	無効化	サイドバー	↑ ↓
マップ上で距離または面積を計測するためのウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
search	簡易検索	登録情報検索	1.0	有効	無効化	サイドバー	↑ ↓
マップに表示されている地点を検索し一覧表示するウィジェット 作成者: National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention (NIED).							
alert	警報	警報	1.0	無効	有効化	サイドバー	
市区町村に発令されている警報を一覧表示するウィジェット							

(9) 公開用一覧パーツ

e コミ GW などの公開サイトで、項目一覧や地図一覧をブロック HTML として埋め込むことを想定した iframe タグの表示を行う画面です。以下の一覧を表示する iframe タグを表示します。

- ・サイト全体最新地図一覧パーツ
- ・サイト全体最新項目一覧パーツ
- ・グループ地図一覧パーツ
- ・グループ項目一覧パーツ



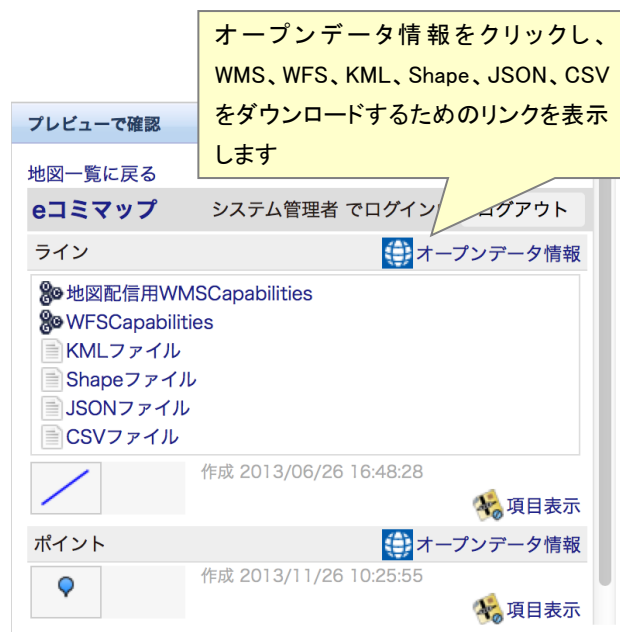
公開用一覧パーツ



各 iframe タグの右の「プレビューで確認」ボタンでは、公開一覧パーツを表示できます。



地図一覧パーツのプレビュー表示



項目一覧パーツのプレビュー表示

地図一覧パーツではオープンデータ情報として、メタデータ、WMS を取得するための URL 情報を提供します。

右上の「グループ名を表示させない」チェックボックスをチェックすることで、プレビュー画面内のグループ名とログイン／ログアウトボタンを非表示にすることができます。

項目一覧パーツではオープンデータ情報として、WMS、WFS、KML、Shape ファイル、JSON ファイル、CSV ファイルを取得するための URL 情報を提供します。ただし、項目が位置情報を持たない場合は、JSON ファイルと CSV ファイルのみの URL 情報が提供されます。

埋め込み用 HTML リンクをクリックすると、項目一覧および地図一覧を HTML のソースで表示

します。一部の地図や項目のみを表示したり、順番を入れ替えたりする用途では、こちらを利用します。

```
<!-- 新着順に表示しています -->

<!-- タイトル : マップ 1 -->
<!-- 説明      : マップの説明 -->
<!-- 公開日時 : 2015/02/05 11:54:08 -->
<div><table border="0" cellpadding="0" cellspacing="0" width="100%" style="font-size: 12px;">
  <tr class="header" style="background-color:#EEE;">
    <td>マップ 1 </td>
    <td align="right" valign="top" nowrap="nowrap">
      <div style="display: table;">
        :
```

地図一覧および項目一覧を HTML ソースで表示します。

(10) 公開サーバ設定

2つのe コミマップサーバ間でデータ連携を行うための設定を行います。

※注意

e コミマップをインストールした直後、もしくはアップデート直後の状態では、この「公開サーバ設定」はメニューに表示されません。
e コミマップのインストールディレクトリにある web.xml を開き、Datalinkage のコメントアウトを外し、e コミマップを再起動することで、メニューに表示されるようになります。

web.xml (例:/home/map/webapps

オープンデータ情報をクリックし、メタデータ、WMS をダウンロードするためのリンクを表示します

部分を削除

```
<!-- Datalinkage -->
<!--
<!--
<servlet>
  <servlet-name>DataLinkage</servlet-name>
  <servlet-class>jp.ecom_plat.map.servlet.DataLinkageServlet</servlet-class>
  <load-on-startup>0</load-on-startup>
</servlet>
<servlet-mapping>
  <servlet-name>DataLinkage</servlet-name>
  <url-pattern>/datalinkage/*</url-pattern>
</servlet-mapping>
-->
</web-app>
```

公開設定された登録情報項目やマップを配信する e コミマップサーバを「配信サーバ」、配信されたデータを受信し、自身のサーバで公開を行う e コミマップサーバを「公開サーバ」として設定します。

・ 初期設定

配信サーバと公開サーバに設定するそれぞれの e コミマップサーバの「公開サーバ設定」で、サーバ種別を行います。配信サーバに設定する場合は、連携先サーバに公開サーバを設定します。

公開サーバ設定

サーバ種別

公開サーバ機能を利用する場合、初回のみ設定を行います。

サーバ種別

☒ 配信サーバ
☐ 公開サーバ
☐ 設定なし

連携先サーバ(ホスト名 or IPアドレス)

www.ecommap.com

更新

公開サーバとすぐに同期

更新履歴

背景地図入替え設定

ID	スケジュール	同期対象	実行ユーザ	状態	設定	利用停止	削除
1	毎月1日 0時0分	[すべてのグループ]	システム管理者	利用中	設定	停止する	削除

スケジュールの追加

公開サーバへの同期スケジュールを設定します。

同期対象

グループ: [すべてのグループ]

日付

☒ 月日指定 毎 月 毎 日
☐ 曜日指定 日曜日

時・分

毎 時 毎 分

繰り返し

☒ (※チェックがない場合は、1回のみ同期実行される)

スケジュールを追加

背景地図入替え設定

配信サーバから公開サーバへマップを公開する場合、背景地図項目の入れ替え設定を行う必要があります。

公開サーバ側で利用できる背景地図項目は、予め「共通項目」の「基本地図項目（公開サーバ側）」へ登録しておくことで、背景地図項目入替え設定画面で選択できるようになります。

基本地図項目(公開サーバ用)設定

削除

グループ内移動

先頭

上へ

下へ

最後

初期表示

表示

隠す

凡例初期化

項目を検索:

検索

1 - 1/1 項目

5 | 10 | 50

1

凡例	ID	項目名	表示	標準縮尺 最大縮尺	透明度	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	wms55	Googleマップ	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] SATELLITE						

グループ内移動

先頭

上へ

下へ

最後

表示/非表示

表示

隠す

背景地図項目入替え設定

[最新情報を表示](#)

配信サーバでのみ公開する背景地図項目がある場合に設定を行います。
非公開としたい背景地図項目を追加し、入れ替え先となる背景地図項目、もしくは非公開を

配信サーバの背景地図項目: 標準地図 (地理院タイル) [設定追加](#)

公開サーバ側

電子国土基本図 (地理院タイル 航空写真)	削除
標準地図 (地理院タイル)	削除

保存

入れ替える背景地図項目を選択し、[設定追加] ボタンをクリックします。

入れ替え先の背景地図項目を選択します。
最後に[保存]ボタンをクリックして、保存します。

同期の実行

双方の e コミマップサーバで初期設定後、配信サーバから公開サーバへの同期が可能です。
すぐに同期する場合は、配信サーバ側の「公開サーバ設定」にある「公開サーバとすぐに同期」ボタンを押します。

システム管理者の場合は、サイト内で公開設定された全ての登録情報項目とマップが同期対象となります。グループ管理者の場合は、グループ内で公開設定された全ての登録情報項目とマップが同期対象となります。

[公開サーバとすぐに同期](#) [更新履歴](#) [背景地図入替え設定](#)

配信サーバで同期実行します。

同期スケジュールの設定

指定した日時に公開サーバへ同期する場合は、スケジュールの設定を行うことで実現できます。
「スケジュールの追加」で、日付、時・分の設定を行います。

設定したスケジュールを一覧表示します。

ID	スケジュール	システム管理者	利用中	設定	停止する	削除
28	毎週日曜日 3時10分					

スケジュールの追加

公開サーバへの同期スケジュールを設定します。

日付

☒ 月日指定 毎 月 毎 日
☐ 曜日指定 日曜日

時・分

毎 時 毎 分

[スケジュールを追加](#)

同期する日付を設定します。
月日指定か曜日指定により指定します。

同期する時分を設定します。

設定したスケジュールを編集します。

・ 更新履歴の表示

同期実行した処理内容を確認するには、配信サーバで「更新履歴」ボタンを押し、更新履歴を表示します。

更新履歴は最新のものから順番に表示されます。表示件数が多い場合は、ページング表示されますので、

公開サーバとすぐに同期 **更新履歴** ボタンを押すと、更新履歴を表示します。

更新履歴

最新情報を表示

ページングのボタンで表示する更新履歴を切り替えます。

ID	日時	時間	実行ユーザ	内容	状態
2	2014/01/08 14:39:55	0.780秒	システム管理者	項目(ポイント1[c1])を更新しました。 項目(ポイント3[c4])を更新しました。 項目(編集権限で作成したポイント[c5])を更新しました。 項目(管理者権限で作成したポイント[c6])を更新しました。 項目(管理画面で作成したポイント[c7])を更新しました。 マップ(マップ1[10])を更新しました。 マップ(マップ2[11])を更新しました。 下記のファイルをコピーしました。 /home/map-public/webapps/map/files/contents/2/c5/dialog.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/108.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/104.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/105.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/109.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/c1/0/packman.png /home/map-public/webapps/map/files/styles/c1/c1.sld /home/map-public/webapps/map/files/styles/c1/c7.sld /home/map-public/webapps/map/files/styles/c1/c4.sld /home/map-public/webapps/map/files/styles/c1/c6.sld /home/map-public/webapps/map/files/styles/c1/c5.sld	正常終了
1	2014/01/08 14:39:35	1.138秒	システム管理者	項目(ポイント1[c1])を更新しました。 項目(ポイント3[c4])を更新しました。 項目(編集権限で作成したポイント[c5])を更新しました。 項目(管理者権限で作成したポイント[c6])を更新しました。 項目(管理画面で作成したポイント[c7])を更新しました。 マップ(マップ1[10])を更新しました。 マップ(マップ2[11])を更新しました。 下記のファイルをコピーしました。 /home/map-public/webapps/map/files/contents/2/c5/dialog.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/108.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/104.png /home/map-public/webapps/map/files/icons/default/105.png	正常終了

・ 同期内容設定

同期する地図に付属する情報（ウィジェット／配置設定、初期表示エリア設定、マップ表示ブックマーク）と、項目に付属する情報（帳票スタイル）の同期可否を設定します。

eComiMap 管理画面

デフォルト項目 ユーザ管理 サイト管理 サーバ設定 アップグレード

共通項目 登録情報 地図 グループ ユーザ 公開サーバ設定 バックアップ 設定 ウィジェット 公開用一覧パーツ 利用状況

同期内容設定

地図

☐ 全ての地図
☒ 公開された地図のみ
☐ 同期しない

項目

☐ 全ての項目
☒ 公開された項目のみ
☐ 同期しない

☐ ウィジェット／配置設定
☐ 初期表示エリア設定
☐ マップ表示ブックマーク
☐ 帳票スタイル

保存

(11) 利用状況

e コミマップへのアクセスを集計し、利用状況を表示します。

※ 注意

e コミマップをインストールした直後、もしくはアップデート直後の状態では、この「利用状況」はメニューに表示されません。

e コミマップのインストールディレクトリにある web.xml を開き、次のコメントアウトを外し、e コミマップを再起動することで、メニューに表示されるようになります。

web.xml (例:/home/map/webapps/map/WEB-INF/web.xml) の下記赤枠部分を削除

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>
<web-app xmlns="http://java.sun.com/xml/ns/javaee" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001
xsi:schemaLocation="http://java.sun.com/xml/ns/javaee http://java.sun.com/xml/ns
version="2.5">

  <display-name>ecom map</display-name>

  <!-- Filter Setting -->
  <!--
  <filter>
    <filter-name>AccessLoggingFilter</filter-name>
    <filter-class>jp.ecom_plat.map.servlet.AccessLoggingFilter</filter-class>
  </filter>
  <filter-mapping>
    <filter-name>AccessLoggingFilter</filter-name>
    <url-pattern>/*</url-pattern>
  </filter-mapping>
  -->

  <!-- Aggregate access log -->
  <!--
  <servlet>
    <servlet-name>AggregateLogTaskServlet</servlet-name>
    <servlet-class>jp.ecom_plat.map.servlet.AggregateLogTaskServlet</servlet-class>
    <load-on-startup>0</load-on-startup>
    <init-param>
      <param-name>scheduling pattern</param-name>
      <param-value>0 1 * * *</param-value>
    </init-param>
  </servlet>
  -->

</web-app>
```

「利用状況」タブを選択すると、次の画面が表示されます。画面内の「項目の利用状況」タブをクリックすると項目へのアクセス集計が表示され、「地図の利用状況」タブをクリックすると地図へのアクセス集計が表示されます。

eComiMap 管理画面

デフォルト項目 ユーザ管理 サイト管理 サーバ設定 アップグレード

共通項目 登録情報 地図 グループ ユーザ バックアップ 設定 ウィジェット 公開用一覧パーツ 利用状況

項目の利用状況 地図の利用状況

項目の利用回数 (画面オープン回数、各種ファイルのダウンロード回数、検索出力回数) を日毎に集計しています。

期間指定: 2014/12/10 ~ 2014/12/18 検索 集計結果ダウンロード

項目ID	名称	合計	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18
C1	point	19	0	3	1	0	0	1	1	1	0
C2	non-geom	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
C3	polygon	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
C4	line	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

各集計値のリンクをクリックすると内訳を表示します。

表示する期間を指定します。

集計結果を Excel ファイル形式でダウンロードします。

- ・ 期間指定

画面上部の期間指定を入力し、[検索]ボタンをクリックすると、指定した期間内の集計結果が表示されます。各集計値のリンクをクリックするとその内訳が表示されます。

The screenshot shows the 'eComMap 管理画面' (Management Screen). At the top, there are navigation tabs: 'デフォルト項目', 'ユーザ管理', 'サイト管理', 'サーバ設定', and 'アップグレード'. Below these, there are more tabs: '共通項目', '登録情報', '地図', 'グループ', 'ユーザ', 'バックアップ', '設定', 'ウィジェット', '公開用一覧パーツ', and '利用状況'. The '利用状況' (Usage Status) tab is selected.

The main content area shows a table of usage statistics. The table has columns for '凡例' (Legend), 'ID', '名称' (Name), '合計' (Total), and a series of columns for dates from 12/10 to 12/19. The table lists several categories: 'c1' (point), 'c2' (non-geom), 'c3' (polygon), and 'c4' (line). The 'c1' category is highlighted in blue.

Below the table, there is a section titled '各集計値のリンクをクリックすると内訳を表示します。' (Clicking on each summary value link will display the breakdown). This section contains a table with columns '名称' (Name) and '件数' (Count). The table lists various actions: '概要を開く' (Open Overview), 'CSVダウンロード' (Download CSV), 'KMLダウンロード' (Download KML), 'Shapeダウンロード' (Download Shape), 'JSONダウンロード' (Download JSON), and 'GMLダウンロード' (Download GML). The '概要を開く' row is highlighted in blue.

A yellow callout box points to the '概要を開く' row with the text: 'クリックした集計値の内訳が表示されます。' (The breakdown of the selected summary value is displayed).

- ・ 集計結果ダウンロード

[集計結果ダウンロード]ボタンをクリックすると、表示している期間内の集計結果を Excel ファイルでダウンロードします。

ダウンロードした Excel ファイル例

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled 'Microsoft Excel - 100020141219D1.xls'. The spreadsheet contains a table with columns for 'ID', '名称', '分類' (Category), '合計' (Total), and a series of columns for dates from 12/10 to 12/19. The table lists several categories: 'c1' (point), 'c2' (non-geom), 'c3' (polygon), and 'c4' (line). The 'c1' category is highlighted in blue.

ID	名称	分類	合計	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19
1	点	点	25	0	3	3	0	0	1	1	1	16	
2	Shapeダウンロード	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
3	CSVダウンロード	点	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
4	KMLダウンロード	点	16	0	3	3	0	0	1	0	0	9	
5	概要出力	点	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
6	Shapeダウンロード	点	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
7	GMLダウンロード	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
8	JSONダウンロード	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
9	概要出力	点	19	0	3	1	0	0	1	1	1	12	
10	Shapeダウンロード	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
11	CSVダウンロード	点	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
12	KMLダウンロード	点	12	0	3	1	0	0	1	0	0	7	
13	概要出力	点	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
14	Shapeダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	GMLダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	JSONダウンロード	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
17	概要出力	点	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
18	Shapeダウンロード	点	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
19	CSVダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	KMLダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	概要出力	点	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	
22	Shapeダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	CSVダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
24	KMLダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	概要出力	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	Shapeダウンロード	点	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
27	CSVダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	KMLダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29	概要出力	点	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
30	Shapeダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31	GMLダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
32	JSONダウンロード	点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
33	概要出力	点	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

3.2 マップ設定画面

(1) マップ地図情報設定

登録したマップの編集を行います。

地図のタイトル・説明の編集、地図の初期表示設定の変更、2 画面表示地図の変更を行います。

テストコミュニティ 管理画面

システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

・マップ一覧 ・項目設定 ・配置設定 ・通知設定

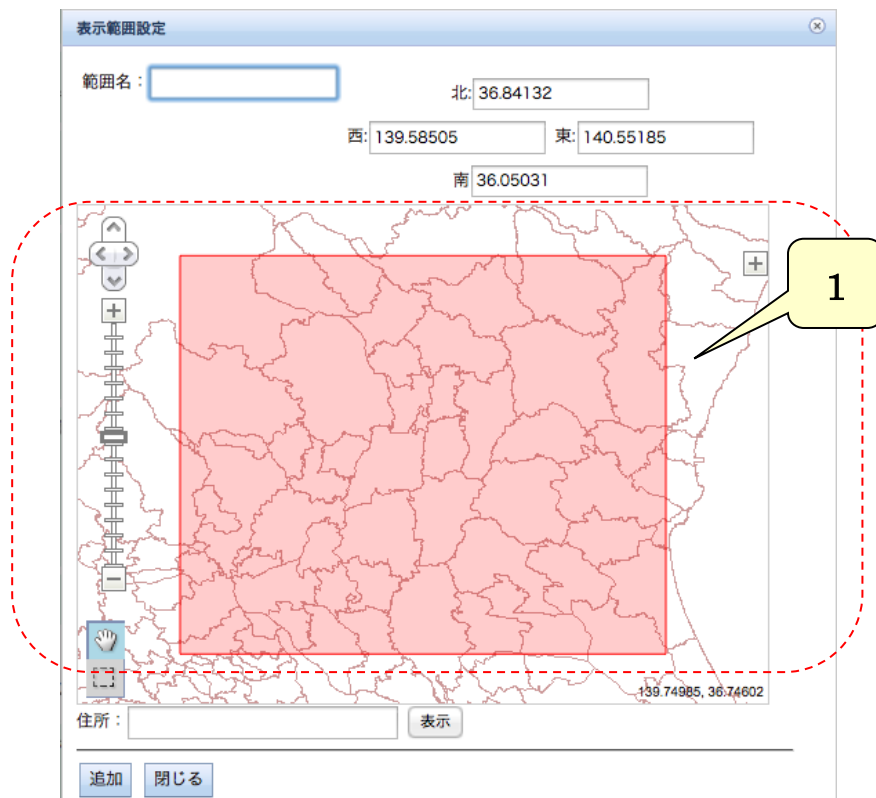
テストマップの設定

マップタイトル (日本語表示名)	テストマップ マップのタイトルです。IDは自動的に割り振られます。
作成日時 (yyyy/MM/dd HH:mm:ss)	2010/07/12 12:46:57 マップの作成日時を変更します
タグ (スペース区切り)	 マップにタグを設定します
マップの説明	 マップの説明を入力してください。
マップ状態	編集中 (地図の設定が可能です) マップの利用状態を変更します。
表示範囲	北: 36.256771087646 西: 138.77156066894 東: 140.31036376953 南: 35.146251678466 マップの表示範囲を設定。 (緯度-180°~180° 経度-90°~90° の数値単位) [× 閉じる] [入力範囲を表示]

1

初期表示位置の設定	北海道地方 東北地方 東海地方 近畿地方 中国地方 四国地方 九州地方	上へ 編集 追加 削除 下へ	初期表示範囲を作成・更新する場合に設定します。ダイアログ画面が表示されます。
地図初期表示縮尺	指定無し	表示範囲よりも解像度での表示を優先する場合に指定してください。	表示範囲全体表示時と異なる縮尺で表示する場合に設定します
2画面表示	<input checked="" type="checkbox"/> GoogleMap	2画面表示で選択可能にするマップを選択してください。	地図を2画面表示する際に、選択可能なマップを指定します。
初期2画面表示	なし	マップを最初から2画面で表示する場合に選択してください。	地図を起動時に2画面状態にする場合は2画面に表示する地図を選択します
登録情報項目再読み込み間隔	秒	登録情報項目の地図画像の再読み込みと、範囲検索の再検索を行う間隔を指定します。	登録情報項目の地図画像の再読み込みと、範囲検索の再検索を行う間隔を指定します。
テストマップを更新			地図設定を更新します
テストマップを削除			この地図を削除します

初期表示範囲設定ダイアログ画面



1. 地図初期表示範囲の設定


地図の初期表示の範囲を緯度経度で指定します。

直接入力

東西南北の各項目に緯度経度を入力します。

地図から選択

「地図で範囲設定」を押すと地図が表示されます。

 ボタンを押して地図上に初期表示範囲を指定して下さい。

- ・ 地域から選択

地域を選択することで、表示範囲を設定します。

2. 移動制限範囲の設定


地図の移動制限範囲を緯度経度で指定します。

直接入力

東西南北の各項目に緯度経度を入力します。

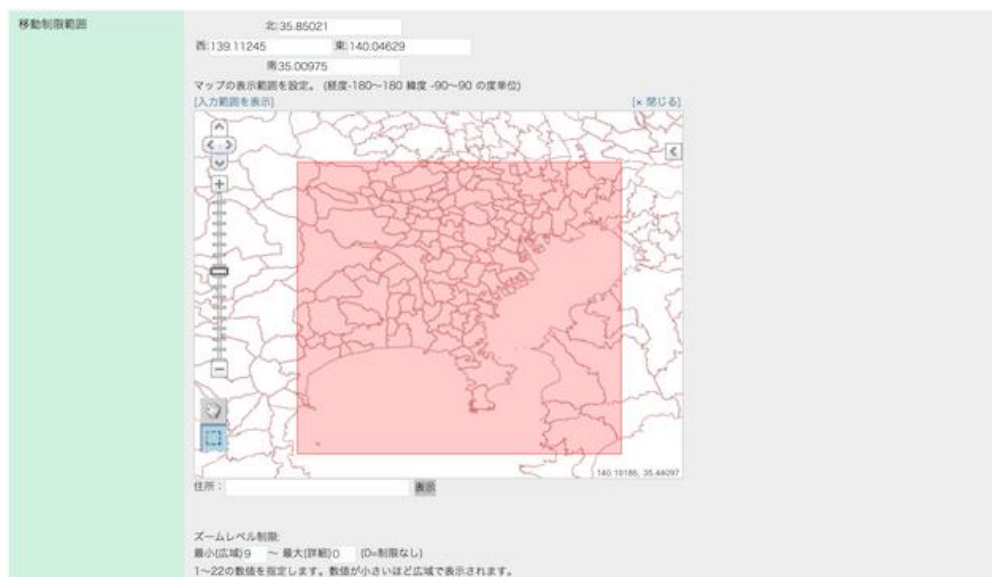
地図から選択

「地図で範囲設定」を押すと地図が表示されます。

 ボタンを押して地図上に初期表示範囲を指定してください。

ズームレベル制限

地図表示縮尺の上限／下限をズームレベルで指定してください。



(2) レイアウト設定

登録したマップの地図画面のレイアウト設定を行います。

凡例とサイドバーの表示位置とサイズ、サイドバー内に表示する広域地図、地図情報、地域選択、距離面積計測、範囲検索、警報の表示設定と、凡例表示の有無、ツールバー上のボタンの表示/非表示の設定を行います。

テストマップ 配置設定

レイアウト設定（マップ毎に凡例やサイドバーのレイアウトや配置を設定します）

凡例	マップの左に表示 初期表示状態: <input checked="" type="radio"/> 展開 <input type="radio"/> 閉じる 表示幅: 250 凡例の表示状態を設定します。
サイドバー	画面右に表示 初期表示状態: <input checked="" type="radio"/> 展開 <input type="radio"/> 閉じる 表示幅: 230 サイドバーの表示状態を設定します。
広域地図	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input checked="" type="radio"/> 展開 <input type="radio"/> 閉じる 広域図高さ: 200 px
マップ情報	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input type="radio"/> 展開 <input checked="" type="radio"/> 閉じる
地域選択	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input type="radio"/> 展開 <input checked="" type="radio"/> 閉じる
距離面積計測	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input type="radio"/> 展開 <input checked="" type="radio"/> 閉じる
警報	<input type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input type="radio"/> 展開 <input checked="" type="radio"/> 閉じる 警報情報URL:
範囲検索	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する 初期表示状態: <input checked="" type="radio"/> 展開 <input type="radio"/> 閉じる 検索結果表示件数: 10

地図画面に表示する情報のレイアウトを設定します

表示制御（マップ毎に凡例やボタンのスタイルを非表示に設定します）

凡例表示設定	登録情報: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 主題図: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 主題図区切り線: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 主題図（画層）: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 背景地図: <input checked="" type="checkbox"/> 表示
ツールバー表示設定	ツールバー 全体: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 マップ保存: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 2 画面表示: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 地図追加: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 印刷: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 情報一覧: <input checked="" type="checkbox"/> 表示 住所検索: <input checked="" type="checkbox"/> 表示

配置を更新

入力された情報で、レイアウト設定を更新します

(3) 更新通知設定

マップが更新されたときのメールでの通知設定の設定を行います。

テストコミュニティ 管理画面 [サイト表示](#) システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

・マップ一覧 ・マップ設定 ・項目設定 ・配置設定

通知メール設定

通知メール送信間隔 分 通知メールを送信する最短の間隔

更新情報の通知間隔を設定します
これを設定しないと通知はされません

テストマップ 更新通知設定

通知条件名称	送信先	マップID	項目	編集	削除
pcメール	PCメール	11	すべての項目	編集	削除

設定済みの更新通知設定の一覧を表示します

更新通知条件編集画面が表示されます

通知条件を追加

通知名称 (任意変更可)

通知条件の名称です。必要に応じて分かりやすい名称を設定してください。

送信先

項目指定

入力した内容で通知条件が追加されます

新規に追加する通知条件を設定します

(4) 更新通知条件編集

更新通知設定の内容の変更を行います。

テストコミュニティ 管理画面

サイト表示

システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目

ユーザ管理

コミュニティ管理

サーバ設定

項目

マップ

ユーザ

グループ

設定

・マップ一覧

・マップ設定

・項目設定

・配置設定

通知条件を編集

通知名称
(任意変更可)

test1

通知条件の名称です。必要に応じて分かりやすい名称を設定してください。

送信先

PCメール

項目指定

すべての登録情報項目

通知条件を編集

変更する更新通知条件を入力します

入力した内容で通知条件を更新します

(5) 登録情報項目設定

マップ内に登録されている、登録情報項目の設定を行います。

登録情報項目は、防災マップ作成システム内で管理しているレイヤで、登録や編集が可能なレイヤであり、属性や描画設定を行うことが可能です。

レイヤの新規作成、作成済みの地図からの複製や共有、レイヤグループの操作を行います。

1 レイヤの並び順・グループ設定・表示設定を変更します。

2 レイヤの一覧を表示し、設定変更、属性設定、描画設定、削除を行います。

3 レイヤの並び順・グループ設定・表示設定を変更します。

4 レイヤをまとめるグループを作成します

5 入力した名称、透明度、縮尺、形状の登録情報レイヤを追加します

6 初期表示状態

7 標準縮尺

8 表示可能縮尺

9 形状

10 登録情報項目を追加

登録情報項目設定

地図 1 (GoogleMap) 登録情報項目設定

凡例	ID	項目名	親グループ	表示	標準縮尺 最大縮尺	形状	項目設定	属性設定	描画設定	除外
<input type="checkbox"/>	c1	項目テスト1	なし	表示	0		項目設定 ログ確認	属性設定	描画設定	除外
<input type="checkbox"/>	c4	項目テスト4	なし	表示	0		項目設定 ログ確認	属性設定	描画設定	除外
<input type="checkbox"/>	c9	B線項目1	なし	表示	0		項目設定 ログ確認	属性設定	描画設定	除外
<input type="checkbox"/>	c11	項目テスト4のコピー	なし	表示	0		項目設定 ログ確認	属性設定	描画設定	除外
<input type="checkbox"/>	c7	d d d	なし	表示	0		項目設定 ログ確認	属性設定	描画設定	除外

グループを追加

凡例をまとめるグループを作成します。

グループ名称 (日本語表示名)

グループ

グループを追加

登録情報項目を追加

項目名称 (日本語表示名) 凡例や検索時に表示される項目名称です。

グループ なし 選択したグループに追加されます。

初期表示状態 ☒ 表示する マップ起動時の項目表示

標準縮尺 0 この項目を表示するのに標準的な縮尺 (0=指定無し)

表示可能縮尺 0 項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制約無し)

形状 点 項目の位置情報の形状を選択してください。

登録情報項目を追加

項目を共有（登録情報共有）

共有可能な項目

【一覧読み込み】

コミュニティ内の他のマップに登録されている項目を共有します
項目内のデータも共有され、変更が反映されます
共有時の編集が許可された項目以外はこのマップからは編集できません

項目を共有

項目を複製

複製可能な項目

【一覧読み込み】

コミュニティ内のマップに登録されている項目の描画設定と属性設定を複製した空の項目を作成します
項目内のデータは複製されません。
データのコピーは、マップで一覧ダウンロードと一括登録を利用してください。

項目を複製

項目ID指定で追加（管理用）

項目ID

復元する項目のID

項目追加

サイトに登録済みの地図内のレイヤ設定を共有します。
共有したレイヤの編集は、共有元のレイヤの共有設定が適用されます

サイトに登録済みの地図内のレイヤ設定を複製した空のレイヤを追加します（データは複製されません）

過去に登録したレイヤをID指定で追加します。

1. レイヤ削除・移動・表示設定・凡例初期化

レイヤー一覧左のチェックボックスで選択されたレイヤに対して以下の処理を行います。

- ・ 削除： 選択したレイヤを削除します。
- ・ へ移動： 選択したレイヤをグループに移動します。
「なし」を選択すると、選択したレイヤをグループから外します。
- ・ 先頭 上へ 下へ 最後： 選択したレイヤの表示の順番を変更します。
上にあるレイヤが前に表示されます。
- ・ 表示・非表示設定： レイヤ・グループの地図起動時の表示・非表示を変更します。
- ・ 凡例初期化： 凡例画像を初期状態に戻します。
凡例画像が正常に表示されない場合にもこれで修正します。

2. レイヤ名・親グループ

レイヤの表示順が地図で表示される順番となります。

- ・ レイヤ名 レイヤ名・グループ名を表示します。
- ・ 親グループ レイヤがどのグループに属しているか表示します。

3. 形状、出力、レイヤ設定

- ・ 形状： レイヤの位置情報の形状を表示します。
- ・ 項目設定： 名称の変更、レイヤの表示設定の編集を行います。
- ・ 属性設定： レイヤの属性設定を変更します。
- ・ 描写設定： レイヤの描画設定を変更します。
- ・ 削除： レイヤを削除します。

4. 項目名称

登録する項目名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。

5. グループ

グループを選択すると、そのグループにレイヤが追加されます。

6. 初期表示状態

「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。

7. 標準縮尺

レイヤの編集時等で表示する際の、縮尺を指定します。

8. 表示可能縮尺

レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。

9. 形状

選択した形状をレイヤの位置情報の形状として指定します。

10. 登録情報項目を追加

設定した内容で登録情報項目を追加します。

(6) 登録情報項目編集

登録情報項目の設定を変更します。

テストコミュニティ 管理画面 [サイト表示](#)

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

主題図項目 主題図 (画像) 項目 基本地図項目

登録情報項目を編集

登録情報項目名称 (日本語表示名)	<input type="text" value="レイヤ 1"/> <small>凡例や検索時に表示される項目名称です。</small>
初期表示状態	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <small>マップ起動時の項目表示状態。</small>
標準縮尺	<input type="text" value="0"/> <small>この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、編集時にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)</small>
表示可能縮尺	<input type="text" value="0"/> <small>項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺では項目を表示しません。(0=制限無し)</small>

1. 項目名称

項目名称を編集します。凡例や検索時に表示されます。

2. 初期表示状態

レイヤの地図起動時の表示・非表示を変更します。

3. 標準縮尺

レイヤの編集時等で表示する際の、縮尺を指定します。

4. 表示可能縮尺

レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。

(7) 属性設定

登録情報項目に登録したレイヤの属性情報を編集します。

テストコミュニティ 管理画面 [サイト表示](#) システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ

項目 マップ ユーザ グループ

属性が含まれるレイヤの情報を表示します

レイヤ 1 項目 属性設定

項目設定へ戻る

項目ID	項目名	形状
c90	レイヤ 1	POINT

削除 移動 先頭 上へ 下へ 最後 移動量: 1

属性ID	属性名	データ型	入力条件	表示文字数	最大文字数	状態	設定	削除
attr1	ID	文字列	空欄可	20	0	編集可	設定	削除
attr2	名称	文字列	空欄可	20	0	編集可	設定	削除

※ 管理専用 属性一括登録 項目の属性を一覧のテキストから一括登録します。

属性を追加

1 属性名称 (日本語表示名)

2 データ種別

3 必須入力条件

4 文字数

5 属性を追加

属性の編集・削除を行います

属性を追加します。属性名、データ種別、空欄可、文字数を記入して「属性を追加」ボタンを押します

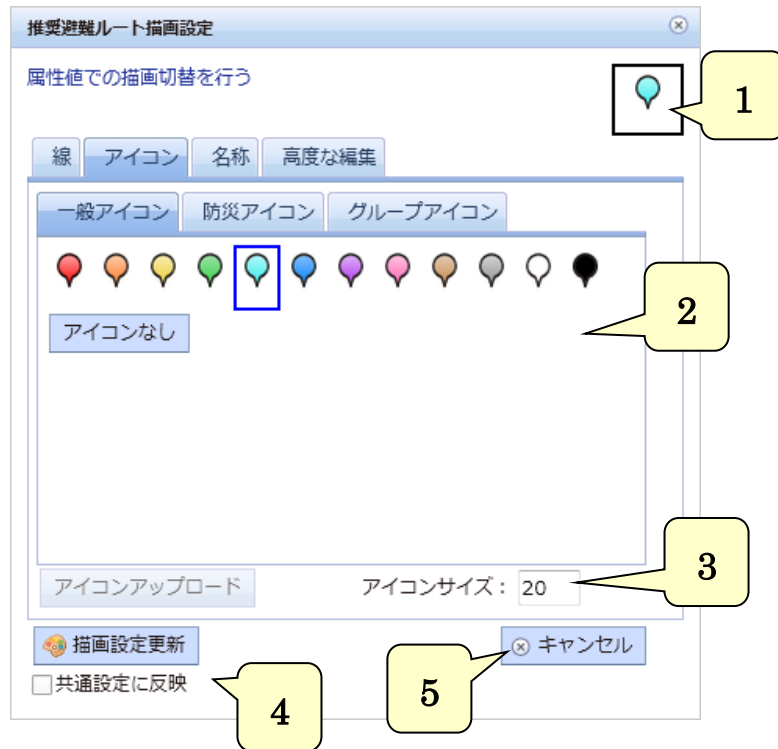
1. 属性名称
追加する属性名称を記入します。
2. データ種別
登録したデータの種別を、文字列、選択、数値(整数)、数値の中から選択します。
3. 必須入力条件
属性に必ず値を入力するか選択します。
4. 文字数
属性を表示する際に表示される文字数を指定します。(0 以下の場合は 20 に設定されます。)
5. 属性追加
属性をマップに追加します。

(8) 描画設定(アイコン)

登録した地点データの描写情報を設定行います。

あらかじめ設定したデフォルトアイコンから選択するか、ユーザがアップロードしたアイコンを選択して描写設定を行います。

・一般アイコン



1. **選択されたアイコン**
現在、選択されているアイコンを表示します。
2. **アイコン一覧**
アイコンをこの一覧から選択します。使用したいアイコンをクリックで選択されます。
3. **アイコンサイズ**
地図で表示するアイコンのサイズを指定します。単位はピクセルです。
4. **描画設定更新**
描画設定を更新します。
共通設定に反映で、登録情報項目の描画設定を更新します。
チェックが無い場合は地図固有の描画設定として保存します。
5. **キャンセル**
描画設定をキャンセルします。

・ユーザアイコン



1. アイコンアップロード

- 「アイコンアップロード」を押すと、アイコンアップロード画面が表示されます。

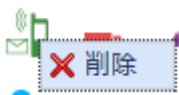


- 「参照」を押してアイコンを選択します。
- 「アップロード」を押してアイコンを登録します。
- アイコンはグループのアイコンとして、登録され、グループ内で利用する場合にアイコン一覧に表示されます。

2. アップロードされたアイコン

アップロードされたアイコンが表示されます。

- アイコンを削除したい場合は、アイコンを右クリックして下さい。



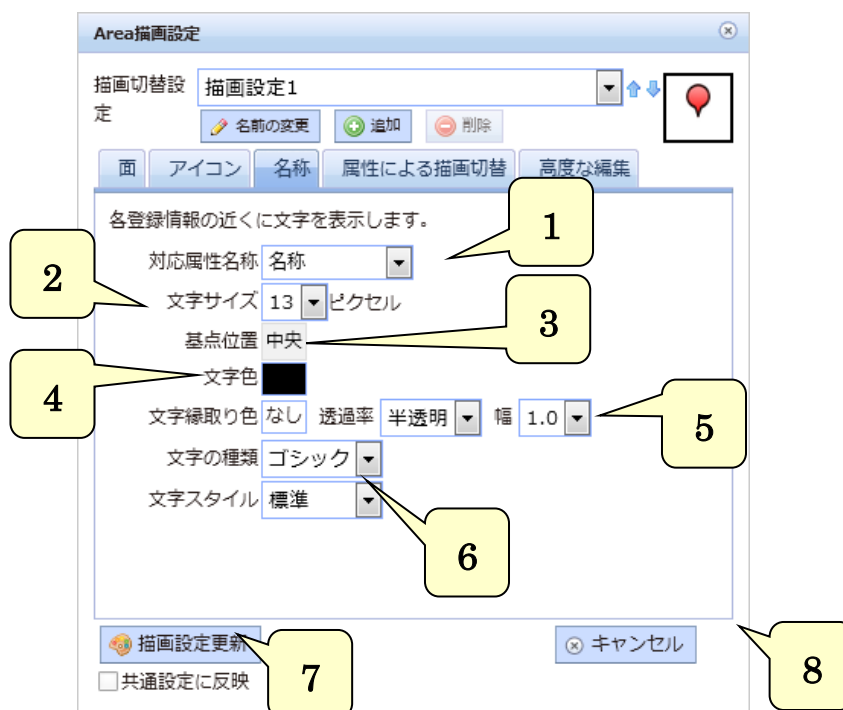
- 表示された「削除」を押すことで、アイコンを削除します。

3. カテゴリ追加

カテゴリを追加してアップロードしたアイコンを分類することができます。

(9) 描画設定(ラベル)

登録した地点データに表示するラベルの設定を行います。



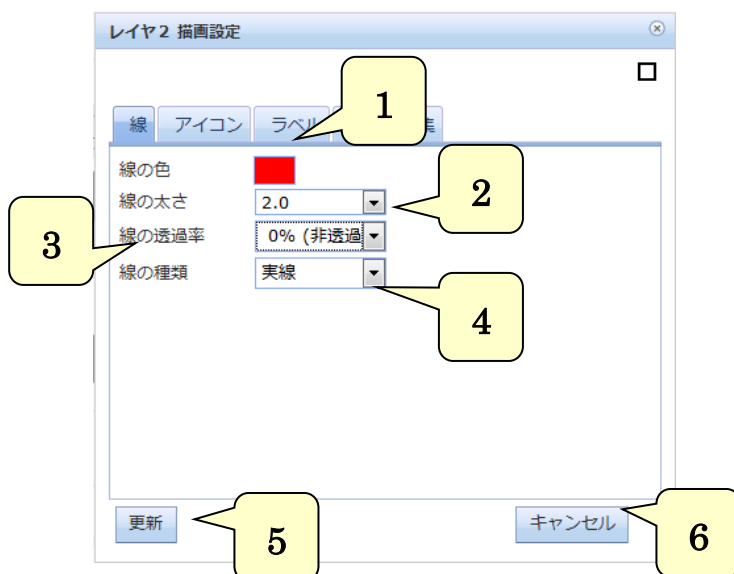
1. 対応属性名称
ラベルに表示する値が格納された属性を選択します。
2. 文字サイズ
文字サイズを指定します。単位はピクセルです。
3. 基点位置
地点データに対してラベルをどの位置に表示するか選択します。



4. 文字の色
文字の色を「色設定」から選択します。
5. 文字縁取り設定
文字縁取りの色と透過率と幅を選択します。
6. 文字種類とスタイル
文字の種類とスタイルを選択します。
7. 描画設定更新
描画設定を更新します。
8. キャンセル
描画設定をキャンセルします。

(10) 描画設定(線)

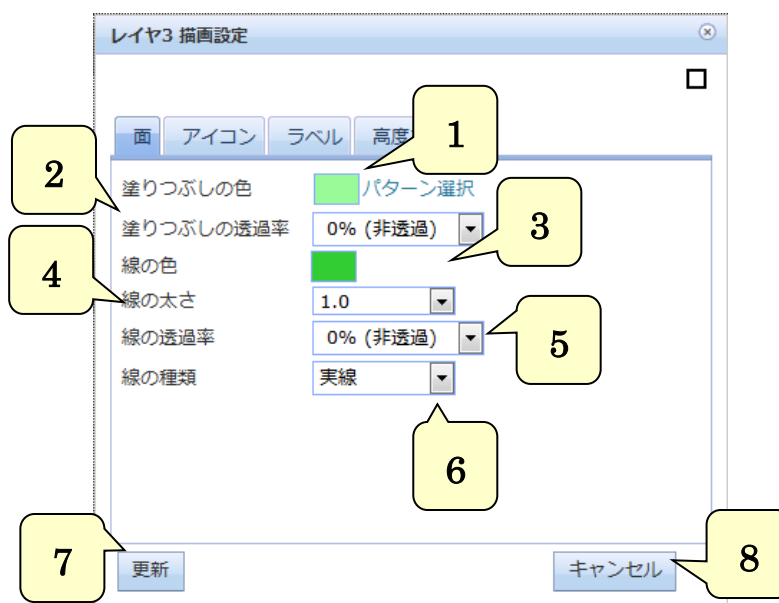
登録した線データの描画設定を行います。

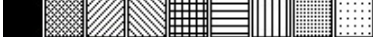


1. **線の色**
線の色を「色設定」から選択します。
2. **線の太さ**
線の幅を選択します。(最小=1.0~最大=10.0 単位はピクセルです。)
3. **線の透過率**
線の透過率を選択します。
4. **線の種類**
線の種類を選択します。
5. **更新**
描画設定を更新します。
6. **キャンセル**
描画設定をキャンセルします。

(11) 描画設定(面)

登録した面データの描画設定を行います。



1. **塗りつぶしの色**
面の塗りつぶしの色を「色設定」から選択します。
また、描写パターン  を選択します。
2. **塗りつぶしの透過率**
面の塗りつぶしの透過率を選択します。
3. **線の色**
外枠線の色を「色設定」から選択します。
4. **線の太さ**
外枠線の線幅を選択します。(最小=1.0~最大=10.0 単位はピクセルです。)
5. **線の透過率**
外枠線の透明度を選択します。
6. **線の種類**
外枠線の種類を選択します。
7. **更新**
描画設定を更新します。
8. **キャンセル**
描画設定をキャンセルします。

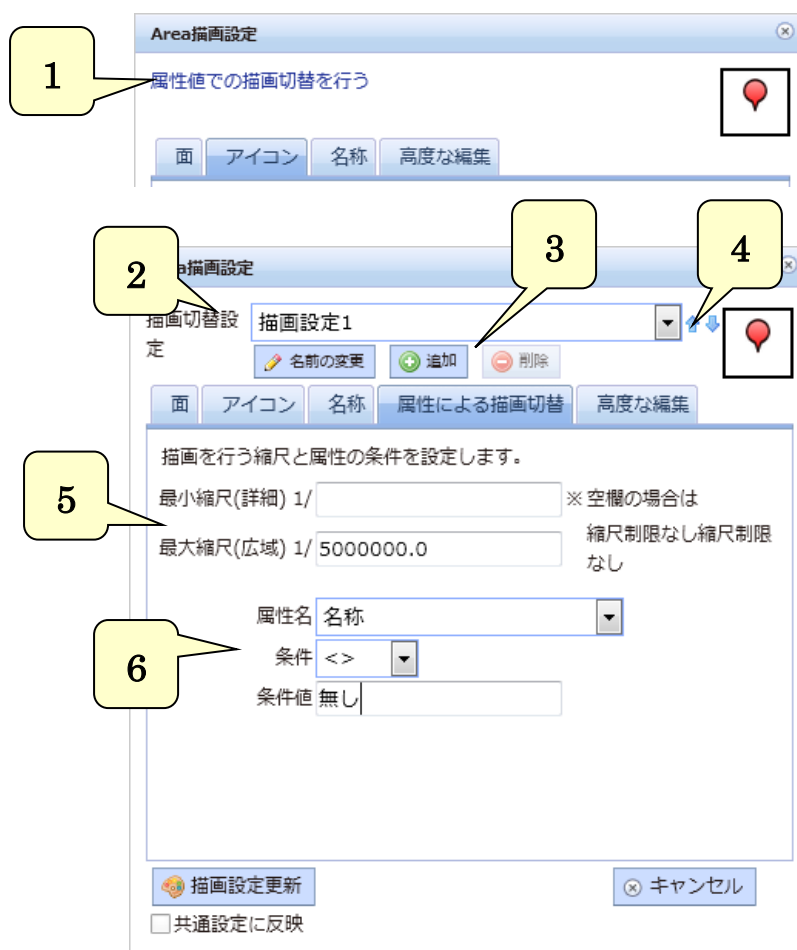
(12) 色設定

色を設定する際に表示されます。クリックした色が色選択欄に設定されます。



(13) 属性による描画切替

属性値による塗り分け設定を行います。



1. 属性での描画切替を行う
リンクをクリックすることで、属性による描画切替のタブと描画切替設定を表示します。
2. 描画切替設定
設定済の描画切替を切り替えます。
3. 名称の変更・追加・削除

描画切替設定の名称の変更、追加、削除を行います。

4. 属性切替設定の並び替え

描画切替設定の順番を変更します。

5. 縮尺条件の設定

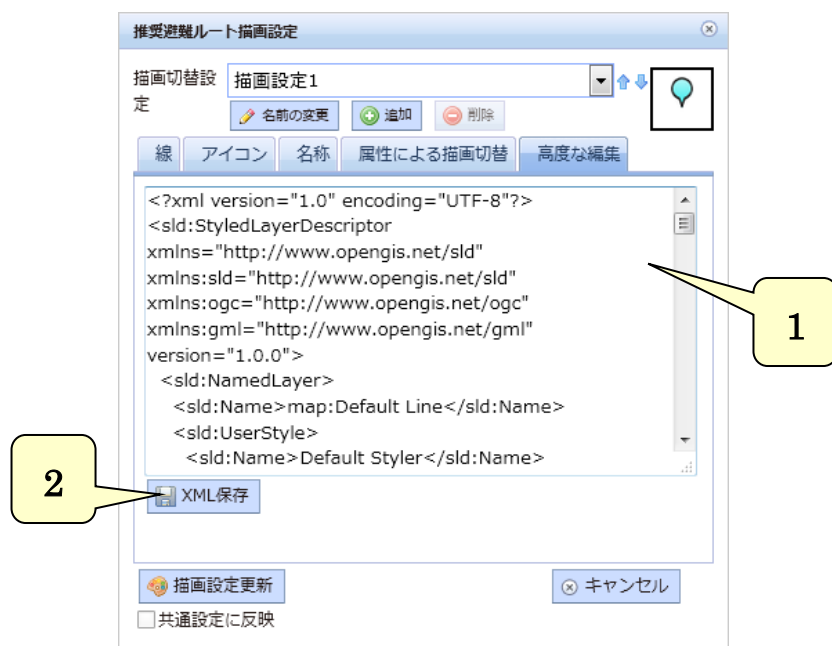
縮尺による描画切替の条件を設定します。

6. 属性条件の設定

属性値と比較条件による描画切替の条件を設定します。

(14) SLD 編集

属性値による塗り分け設定や、より詳細な描画設定を行う場合は SLD を直接編集します。



1. SLD 入力欄

SLD を直接編集します

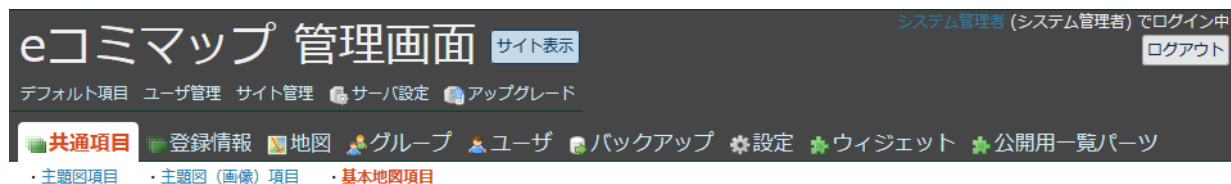
2. XML 保存

入力した SLD を保存し、属性情報に反映させます。

(15) 共通項目設定

サイトで共通的に利用する、主題図項目、主題図（画像）項目、背景地図項目を管理することができます。

初期状態は、システム管理画面でサーバ共通で設定されたデフォルト項目が設定されています。



基本地図項目設定

削除 グループ内移動 先頭 上へ 下へ 最後 初期表示 表示 隠す 凡例初期化

項目検索: 検索

1 - 5/8 項目 5 | 10 | 50 | すべて

凡例	ID	項目名	表示	標準縮尺 最大縮尺	透明度	項目設定	除外
	WEBTIS	電子国土	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] STD [WMS] STD						
	WEBTIS_ORTHO	電子国土 航空写真	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] ORT [WMS] ORT						
	OSM	OpenStreetMap	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] Mapnik [WMS] http://b.tile.openstreetmap.org						
	GoogleMap	Googleマップ	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] DEFAULT [WMS] DEFAULT						
	GooglePhoto	Google航空写真	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
	[LAYERS] SATELLITE [WMS] SATELLITE						

グループ内移動 先頭 上へ 下へ 最後 表示/非表示 表示 隠す

設定済の共通項目が表示されます。
一覧から各項目の編集と除外を行うことができます。

(16) 主題図項目編集

マップ内に登録されている、主題図項目の管理を行います。

地図相互運用サーバの WMS 毎にグループとして一覧の表示を行い、各レイヤの設定、グループの追加、クリアリングハウスからの地図追加、登録済みのレイヤの追加、レイヤの新規作成を行います。

テストコミュニティ 管理画面 [サイト表示](#) システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

[登録情報項目](#) [主題図項目](#) [主題図 \(画像\) 項目](#) [基本地図項目](#)

・マップ一覧 ・マップ設定 ・配置設定 ・通知設定

テストマップ 主題図項目設定

グループ内移動 先頭 上へ 下へ 最後 表示/非表示 表示 非表示 凡例初期化

凡例	ID	項目名	親グループ	表示	標準縮尺 最大縮尺	透明度	項目設定	除外
	ref87	降水予測	なし	非表示			項目設定	除外
<div>[WMS Capabilities] http://server2.geospace.jp/WMSCapability/kousui.xml [WMS] http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/kousui/kousui.map& [WMS Format] image/png + このWMS内の項目を編集</div>								
	ref88	雷予測	なし				項目設定	除外
<div>[WMS Capabilities] http://server2.geospace.jp/WMSCapability/kaminari.xml [WMS] http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/kaminari/kaminari.map& [WMS Format] image/png + このWMS内の項目を編集</div>								
	ref89	竜巻予測	なし				項目設定	除外
<div>[WMS Capabilities] http://server2.geospace.jp/WMSCapability/tatsumaki.xml [WMS] http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/tatsumaki/tatsumaki.map& [WMS Format] image/png + このWMS内の項目を編集</div>								

登録済みの主題図項目を地図相互運用サーバ単位で一覧表示します
「この WMS 内の項目を編集」を押すと、相互運用サーバ内の参照地図レイヤー一覧が表示されます

クリアリングハウスで地図を検索

キーワード または WMSCapabilitiesのURL	検索キーワード(AND条件)を設定します。WMSサーブ/が分かっている場合は、WMSCapabilitiesが取得可能なWMSを入力してください。
検索範囲	<input type="checkbox"/> 範囲条件有効 北: 46.78 西: 120.2 東: 151.35 南: 22.93 [マップで範囲設定]
並び替え:	自動 ▼
<input type="button" value="クリアリングハウスで地図を検索"/>	

クリアリングハウスから相互運用可能な地図を検索して、主題図項目として地図に追加します
詳細は管理画面用クリアリングハウス検索画面を参照。

デフォルト項目を追加

デフォルト主題図項目	愛知県高度ハザードマップ ▼ マップに追加するデフォルトの主題図項目を選択してください。
<input type="button" value="デフォルト主題図項目を追加"/>	

デフォルトレイヤに登録されている主題図項目を追加します

コミュニティ内で登録済みの主題図項目を追加

登録済み主題図項目	なし マップに追加する登録済み主題図項目を選択してください。
<input type="button" value="登録済み主題図項目を追加"/>	

サイト内の他の地図に登録されている主題図項目を追加します

主題図項目を新規追加

項目名称 (日本語表示名)	凡例や検索時に表示される項目名称です。内部的なIDは自動的に割り振られます。	3
初期表示状態	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する マップ起動時の項目表示状態。	4
透明度	1.0 項目の表示不透明度。(透明=0.0〜不透明=1.0)	5
標準縮尺	0 この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、縮小時にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)	6
表示可能縮尺	0 項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)	7
LAYERS	相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)	8
WMS URL	GetMapリクエストURLを直接指定します。 (例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)	9
WMS画像フォーマット	image/png24 ▼ WMSで所得する画像のフォーマットを選択	10
データ帰属先	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は ♪ タグでリンクを記述	11
<input type="button" value="主題図項目を追加"/>		

相互運用サーバーの情報を直接入力して、主題図項目を追加します

1. レイヤ削除・移動・表示設定・凡例初期化

レイヤー一覧左のチェックボックスで選択されたレイヤに対して以下の処理を行います。

- ・ 削除： 選択したレイヤを削除します。
- ・ へ移動： 選択したレイヤをグループに移動します。
「なし」を選択すると、選択したレイヤをグループから外します。
- ・ 先頭 上へ 下へ 最後： 選択したレイヤの表示の順番を変更します。
上にあるレイヤが前に表示されます。
- ・ 表示・非表示設定： レイヤ・グループの地図起動時の表示・非表示を変更します。
- ・ 凡例初期化： 凡例画像を初期状態に戻します。
凡例画像が正常に表示されない場合にもこれで修正します。

2. 設定

- ・ 設定： 相互運用サーバの設定や、各レイヤの名称等を変更します。
- ・ 削除： 相互運用サーバまたはレイヤを削除します。

3. 項目名称

登録する項目名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。

4. 初期表示状態

「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。

5. 透明度

レイヤの不透明度を指定します。(透明=0.0~不透明=1.0)

6. 標準縮尺

レイヤの標準的な表示縮尺を指定します。

7. 表示可能縮尺

レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。

8. LAYERS

相互運用サーバ内のフィーチャタイプ ID をカンマ区切りで指定します。

9. WMS URL

相互運用サーバの URL を設定します。

10. WMS 画像フォーマット

相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。

11. 主題図項目を追加

設定した内容で主題図項目を追加します。

(17) 主題図項目編集画面

主題図項目の相互運用サーバの情報の設定を変更します。

テストコミュニティ 管理画面

サイト表示

システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目

ユーザ管理

コミュニティ管理

サーバ設定

項目

マップ

ユーザ

グループ

設定

登録情報項目

主題図項目

主題図 (画像) 項目

基本地図項目

主題図を編集

主題図名称
(日本語表示名)

降水予測

凡例や検索時に表示される項目名称です。

初期表示状態

☐ 表示する

マップ起動時の項目表示状態。

透明度

0.5

項目の表示不透明度。(透明=0.0~不透明=1.0)

凡例初期展開状態

☐ 畳む

マップ起動時の凡例ツリーの子の展開状態。

標準縮尺

0

この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、編集時にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)

表示可能縮尺

0

項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺では項目を表示しません。(0=制限無し)

再読み込み間隔 (秒)

300

地図データを再読み込みする間隔 (秒数 30以上の整数)

再読み込み時に
レイヤ情報を更新

☒ 更新する

再読み込み時にWMSCapabilitiesを再読み込みして主題図内のレイヤ情報も更新する

WFS URL

WFSリクエストURL (GetFeature用 POSTリクエストURL)
(例: http://memap3.fal.co.jp/wfs?)

WMS Capabilities URL

http://server2.geospace.jp/WMSCapability/kousui.xml

WMS Capabilitiesを取得するためのURL

地図画像取得 WMS URL

http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/kousui/kousui.map&

地図画像を取得するためのURL
GetMapリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)

WMS地図画像フォーマット

image/png24

WMSで所得する地図画像のフォーマットを選択 (image/jpegを選択すると透過されません)

凡例画像取得 WMS URL

http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/kousui/kousui.map&

凡例画像を取得するためのURL
GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサーバのURLまたは凡例画像URL
(例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)

フィーチャ参照 WMS URL

http://server2.geospace.jp/cgi-bin/mapserv?map=/usr/local/bsaas/maps/kousui/kousui.map&

フィーチャの詳細を取得するためのURL
GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサーバのURL
(例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)

メタデータURL

メタデータが取得可能なURL

データ権属先

マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列
リンクする場合は a タグでリンクを記述

項目を更新

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

1. **主題図名称**
登録する主題図名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。
2. **初期表示状態**
「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。
3. **透明度**
レイヤの不透明度を指定します。(透明=0.0~不透明=1.0)
4. **凡例初期展開状態**
グループレイヤの場合、地図画面の凡例ツリーの子の状態を設定します。
5. **標準縮尺**
レイヤの標準的な縮尺を指定します。
6. **表示可能縮尺**
レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。
7. **再読み込み間隔(秒)**
地図データを再読み込みする間隔 (秒数 30 以上の整数) を指定します。
8. **再読み込み時にレイヤ情報を更新**
再読み込み時に WMSCapabilities を再読み込みして主題図内のレイヤ情報も更新します。
9. **WFS URL**
WFS インタフェースでデータを参照するための URL を指定します。
設定は可能ですが現在は利用していません。
10. **WMS Capabilities URL**
WMS Capabilities を取得するための URL を指定します。
11. **地図画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
12. **WMS 画像フォーマット**
相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。
13. **凡例画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから凡例画像を取得するための URL を設定します。
14. **フィーチャ参照 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
15. **メタデータ URL**
メタデータが取得可能な URL を設定します。
16. **データ帰属先**
相互運用地図データの帰属先の情報を設定します。
この文字列が地図上にクレジットとして表示されます。
17. **項目を更新**
設定した内容で主題図項目を更新します。

(18) 主題図(画像)レイヤ設定

マップ内に登録されている、主題図(画像)項目の管理を行います。

地図相互運用サーバの WMS の地図画像の対応したレイヤとして登録されている主題図（画像）項目の一覧の表示を行い、各レイヤの設定、グループの追加、クリアリングハウスからの地図追加、設定済みのレイヤ追加、レイヤの新規作成を行います。

テストコミュニティ 管理画面

システム管理者 (システム管理者) でログイン中

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

登録情報項目 主題図項目 主題図（画像）項目 基本地図項目

・マップ一覧 ・マップ設定 ・配置設定 ・通知設定

テストマップ 主題図画像項目設定

項目を作成しました。

除外 なし へ移動 グループ内移動 先頭 上へ 下へ 最後 表示/非表示 表示 非表示 凡例初期化

凡例	ID	項目名	親グループ	表示	標準縮尺	透明度	項目設定	除外
	c93	行政界	なし	表示			<div>項目設定 除外</div>	
[LAYERS] admin [WMS] http://geospace.service-section.com/geoserver/wms?SERVICE=WMS& [WMS Format] image/png								

登録済みの主題図（画像）項目の一覧が表示されます

2

クリアリングハウスで地図を検索

キーワード
または WMSCapabilitiesのURL

検索キーワード(AND条件)を設定します。WMSサーバ(が分かっている場合は、WMSCapabilitiesが取得可能なWMSサーバ)のURL または、WMSCapabilitiesのXMLファイルのURLを入力してください。

検索範囲

☐ 範囲条件有効

北: 46.78
西: 120.2 東: 151.35
南: 22.93

[マップで範囲設定]

並び替え: 自動

クリアリングハウスで地図を検索

クリアリングハウスから相互運用可能な地図を検索して、主題図（画像）項目として地図に追加します。詳細は管理画面用クリアリングハウス検索画面を参照

デフォルト項目を追加

デフォルト主題図画像項目 マップに追加するデフォルトの主題図画像項目を選択してください。

デフォルト主題図画像項目を追加

デフォルト項目に登録されている主題図(画像)項目を追加します

コミュニティ内で登録済みの主題図画像項目を追加

登録済み主題図画像項目 なし マップに追加する登録済み主題図画像項目を選択してください。

登録済み主題図画像項目を追加

サイト内の他の地図に登録されている主題図(画像)項目を追加します

相互運用サーバーの情報を直接入力して、主題図(画像)項目を追加します

主題図画像項目を新規追加

項目名称 (日本語表示名)	<input type="text" value="行政界"/> <small>凡例や検索時に表示される項目名称です。内部的なIDは自動的に割り振られます。</small>	3
グループ	<input type="text" value="なし"/> <small>選択したグループに追加されます。</small>	4
初期表示状態	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する <small>マップ起動時の項目表示状態。</small>	5
透明度	<input type="text" value="1.0"/> <small>項目の表示不透明度。(透明=0.0〜不透明=1.0)</small>	6
地図タイル表示	<input checked="" type="checkbox"/> タイル表示 <small>タイル状に地図画像を取得します。(複数のリクエストができないサーバはチェックを外してください) タイルキャッシュサーバ(を利用している場合は必ずチェックしてください)。</small>	7
標準縮尺	<input type="text" value="0"/> <small>この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、編集時にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)</small>	8
表示可能縮尺	<input type="text" value="0"/> <small>項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)</small>	9
LAYERS	<input type="text" value="admin"/> <small>相互運用リクエストLAYERS/パラメタに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)</small>	10
WMS URL	<input type="text" value="http://geospace.service-section.com/geoserver/wms?SERVICE=WMS&"/> <small>GetMapリクエストURLを直接指定します。 (例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)</small>	11
WMS画像フォーマット	<input type="text" value="image/png24"/> <small>WMSで所得する画像のフォーマットを選択</small>	12
データ帰属先	<input type="text"/> <small>マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述</small>	13

主題図画像項目を追加

14

1. レイヤ削除・移動・表示設定・凡例初期化

レイヤー一覧左のチェックボックスで選択されたレイヤに対して以下の処理を行います。

- ・ 削除： 選択したレイヤを削除します。
- ・ へ移動： 選択したレイヤをグループに移動します。
「なし」を選択すると、選択したレイヤをグループから外します。
- ・ 先頭 上へ 下へ 最後： 選択したレイヤの表示の順番を変更します。
上にあるレイヤが前に表示されます。
- ・ 表示・非表示設定： レイヤ・グループの地図起動時の表示・非表示を変更します。
- ・ 凡例初期化： 凡例画像を初期状態に戻します。
凡例画像が正常に表示されない場合にもこれで修正します。

2. 設定

- ・ 設定： 相互運用サーバの設定や、各レイヤの名称等を変更します。
- ・ 削除： 相互運用サーバまたはレイヤを削除します。

3. 項目名称

登録する項目名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。

4. グループ

グループを選択すると、そのグループにレイヤが追加されます。

5. 初期表示状態

「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。

6. 透明度

レイヤの不透明度を指定します。(透明=0.0~不透明=1.0)

7. 地図タイル表示

地図画像を標準的なタイル画像(縦横 256 ピクセル)で取得する場合にここをチェックします。

チェックを外すと地図表示画面のサイズで地図画像を取得します。

タイルキャッシュサーバを利用している場合は必ずチェックをする必要があります。

8. 標準縮尺

レイヤの標準的な表示縮尺と、表示可能な最大の縮尺を指定します。

9. 表示可能縮尺

レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。

10. LAYERS

相互運用サーバ内のフィーチャタイプ ID をカンマ区切りで指定します。

11. WMS URL

相互運用サーバの URL を設定します。

12. WMS 画像フォーマット

相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。

13. データ帰属先

データの帰属先の情報を設定します。

この文字列が地図上にクレジットとして表示されます。

14. 主題図画像項目を追加

設定した内容で主題図(画像)項目を追加します。

(19) 主題図(画像)項目編集

主題図(画像)項目の相互運用サーバの情報の設定を変更します。

テストコミュニティ 管理画面 [サイト表示](#)

デフォルト項目 ユーザ管理 コミュニティ管理 サーバ設定

項目 **マップ** ユーザ グループ 設定

登録情報項目 主題図項目 主題図(画像)項目 基本地図項目

主題図(画像)項目を編集

主題図(画像)項目名称 (日本語表示名)	行政界	1
	凡例や検索時に表示される項目名称です。	
初期表示状態	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	2
	マップ起動時の項目表示状態。	
透明度	1.0	3
	項目の表示不透明度。(透明=0.0~不透明=1.0)	
地図タイル表示	<input type="radio"/> タイルなし <input checked="" type="radio"/> タイル表示	4
	タイル状に地図画像を取得します。(複数のリクエストができないサーバはチェックを外してください) タイルキャッシュサーバ(を利用している場合は必ずチェックしてください)。	
標準縮尺	0	5
	この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、編集時にこの縮尺で表示されます)(0=指定無し)	
表示可能縮尺	0	6
	項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺では項目を表示しません。(0=制限無し)	
LAYERS	admin	7
	相互運用リクエストLAYERS/(パラメタに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り))	
WMS Capabilities URL		8
	WMS Capabilitiesを取得するためのURL	
地図画像取得 WMS URL	http://geospace.service-section.com/geoserver/wms?SERVICE=WMS&	9
	地図画像を取得するためのURL GetMapリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://memap3.fai.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)	
WMS地図画像フォーマット	image/png24	
	WMSで所得する地図画像のフォーマットを選択 (image_jpegを選択すると透過されません)	
凡例画像取得 WMS URL	http://geospace.service-section.com/geoserver/wms?SERVICE=WMS&	10
	凡例画像を取得するためのURL GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサーバのURLまたは凡例画像URL (例: http://memap3.fai.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)	
フィーチャ参照 WMS URL	http://geospace.service-section.com/geoserver/wms?SERVICE=WMS&	11
	フィーチャの詳細を取得するためのURL GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://memap3.fai.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)	
メタデータURL		12
	メタデータが取得可能なURL	
データ帰属先		13
	マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述	
項目を更新		14
		15

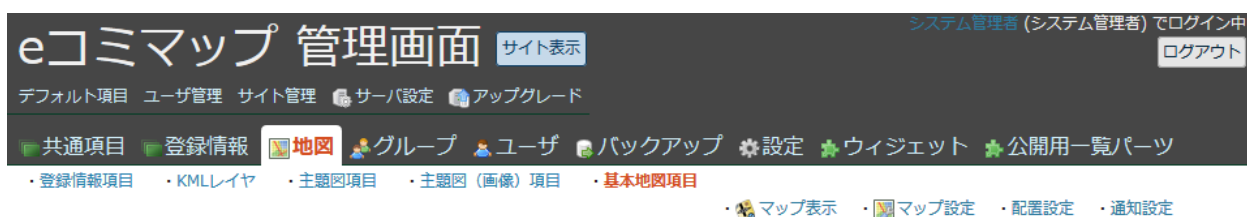
1. **項目名称**
登録する項目名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。
2. **初期表示状態**
「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。
3. **透明度**
レイヤの不透明度を指定します。(透明=0.0~不透明=1.0)
4. **地図タイル表示**
地図画像を標準的なタイル画像(縦横 256 ピクセル)で取得する場合にここをチェックします。
チェックを外すと地図表示画面のサイズで地図画像を取得します。
タイルキャッシュサーバを利用している場合は必ずチェックをする必要があります。
5. **標準縮尺**
レイヤの標準的な縮尺を指定します。
6. **表示可能縮尺**
レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。
7. **LAYERS**
相互運用サーバ内のフィーチャタイプ ID をカンマ区切りで指定します
8. **WMS Capabilities URL**
WMS Capabilities を取得するための URL を設定します。
9. **地図画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
10. **WMS 画像フォーマット**
相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。
11. **凡例画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから凡例画像を取得するための URL を設定します。
12. **フィーチャ参照 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
13. **メタデータ URL**
メタデータを取得するための URL を設定します。
14. **データ帰属先**
相互運用地図データの帰属先の情報を設定します。
この文字列が地図上にクレジットとして表示されます。
15. **項目を更新**
設定した内容で主題図(画像)項目を更新します。

(20) 基本地図項目設定

マップ内に登録されている、基本地図項目の管理を行います。
マップの背景として表示するデータで、主題図(画像)項目とは分けて管理されています。

地図相互運用サーバの **WMS** の地図画像の対応したレイヤとして登録されている基本地図項目の一覧の表示を行い、各レイヤの設定、グループの追加、クリアリングハウスからの地図追加、設定済みのレイヤ追加、レイヤの新規作成を行います。

また、通常の WMS レイヤの他に、Google マップ、OpenStreetMap、電子国土 Web システムのレイヤを設定することができます。



地図 1 (GoogleMap) 基本地図項目設定

1

削除 グループ内移動 先頭 上へ 下へ 最後 初期表示 表示 隠す 凡例初期化

項目検索: 検索

1 - 1/1 項目	5 10 50 すべて	表示	標準縮尺	透明度	項目設定	除外
<input type="checkbox"/> 凡例	ID	項目名				
<input type="checkbox"/>	GoogleMap	Googleマップ		.0	項目設定	除外
	[LAYERS] DEFAULT [WMS] DEFAULT					

登録済みの基本地図項目の一覧が表示されます

2

クリアリングハウスで地図を検索

キーワード
または WMSCapabilitiesのURL

検索キーワード(AND条件)を設定します。WMSサーバが分かっている場合は、WMSCapabilitiesが取得可能なWMSサーバのURL または、WMSCapabilitiesのXMLファイルのURLを入力してください。

検索範囲

☐ 範囲条件有効

北: 36.84132
西: 139.58505 東: 140.55185
南: 36.05031

[マップで範囲設定]

並び替え:

クリアリングハウスで地図を検索

クリアリングハウスから相互運用可能な地図を検索して、基本地図項目として地図に追加します
詳細は管理画面用クリアリングハウス検索画面を参照

デフォルト項目を追加

デフォルト基本地図項目 マップに追加するデフォルトの基本地図項目を選択してください。

デフォルト基本地図項目を追加

デフォルト項目に登録されている
基本地図項目を追加します

コミュニティ内で登録済みの基本地図項目を追加

登録済み基本地図項目 なし
マップに追加する登録済み基本地図項目を選択してください。

登録済み基本地図項目を追加

サイト内の他の地図に登録されている
基本地図項目を追加します

相互運用サーバーの情報を直接入力
して、基本地図項目を追加します

基本地図項目を新規追加

項目名称
(日本語表示名)
凡例や検索時に表示される項目名称です。内部的なIDは自動的に割り振られます。

初期表示状態 ☒ 表示する
マップ起動時の項目表示状態。

地図タイル表示 ☒ タイル表示
タイルキャッシュサーバを利用している場合は必ずチェックしてください。

標準縮尺
この項目を表示するのに標準的な縮尺。(拡大、編集時にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)

表示可能縮尺
項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。(0=制限無し)

LAYERS
相互運用リクエストLAYERS/パラメタに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)

WMS URL
GetMapリクエストURLを直接指定します。
(例: http://memap3.fal.co.jp/wms?SERVICE=WMS&)

WMS画像フォーマット WMSで所得する画像のフォーマットを選択 (航空写真等のフルカラー画像は image/jpeg を選択)

データ帰属先
マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列
リンクする場合は a タグでリンクを記述

基本地図項目を追加

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

・ Google マップの設定

Google マップを背景地図項目に追加して地図画面への表示および印刷（商用利用時のみ）することができます。

地図の種類から、「GoogleMaps」を選び Google マップで表示するレイヤを、「地図」、「航空写真」、「航空写真+地図」、「地形」から選択することで、Google マップ表示に必要な設定が自動で入力されます。

地図の種類	<input type="radio"/> 標準WMS <input type="radio"/> GeoWebCache <input type="radio"/> TileCache <input type="radio"/> KaMapCache <input type="radio"/> OpenStreetMap <input checked="" type="radio"/> GoogleMaps レイヤ選択: <input type="radio"/> 地図 <input type="radio"/> 航空写真 <input type="radio"/> 航空写真+地図 <input checked="" type="radio"/> 地形 <small> <input type="radio"/> 電子国土（国土地理院背景地図等データ利用規約に従ってご利用ください。測量法に基づく申請が必要な場合があります。） 地図の種類を設定します。 タイルキャッシュ等を利用している場合は該当するものを選択してください </small>
LAYERS	PHYSICAL 相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID（カンマ区切り）
WMS Capabilities URL	<input type="text"/> WMS Capabilitiesを取得するためのURL
地図画像取得 WMS URL	PHYSICAL 地図画像を取得するためのURL GetMapリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
WMS地図画像フォーマット	<input type="text" value="image/png24"/> WMSで取得する地図画像のフォーマットを選択 (航空写真等のフルカラー画像は image/jpeg を選択)
凡例画像取得 WMS URL	PHYSICAL 凡例画像を取得するためのURL GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサーバのURLまたは凡例画像URL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
フィーチャ参照 WMS URL	PHYSICAL フィーチャの詳細を取得するためのURL GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
メタデータURL	<input type="text"/> メタデータが取得可能なURL
データ帰属先	<input type="text"/> マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述

- ・ OpenStreetMap の設定

OpenStreetMap (<http://www.openstreetmap.org/>) の背景地図項目に追加して地図画面への表示および印刷することができます。

地図の種類から、「OpenStreetMap」を選び OpenStreetMap で表示するレイヤを、「Mapnik」、「Osmarender」、「Cycle Map」、「Transport Map」、「MapQuest Open」から選択することで、OpenStreetMap 表示に必要な設定が自動で入力されます。

地図の種類	<input type="radio"/> 標準WMS <input type="radio"/> GeoWebCache <input type="radio"/> TileCache <input type="radio"/> KaMapCache <input checked="" type="radio"/> OpenStreetMap レイヤ選択: <input checked="" type="radio"/> Mapnik <input type="radio"/> Osmarender <input type="radio"/> Cycle Map <input type="radio"/> Transport Map <input type="radio"/> MapQuest Open <input type="radio"/> GoogleMaps <small> <input checked="" type="radio"/> 電子国土 (国土地理院背景地図等データ利用規約に従ってご利用ください。測量法に基づく申請が必要な場合があります。) 地図の種類を設定します。 タイルキャッシュ等を利用している場合は該当するものを選択してください </small>
LAYERS	Mapnik <small>相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)</small>
WMS Capabilities URL	<input type="text"/> <small>WMS Capabilitiesを取得するためのURL</small>
地図画像取得 WMS URL	<input type="text" value="http://b.tile.openstreetmap.org"/> <small>地図画像を取得するためのURL GetMapリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map.digital-earth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)</small>
WMS地図画像フォーマット	<input type="text" value="image/png24"/> <small>WMSで取得する地図画像のフォーマットを選択 (航空写真等のフルカラー画像は image/jpeg を選択)</small>
凡例画像取得 WMS URL	<input type="text" value="http://b.tile.openstreetmap.org"/> <small>凡例画像を取得するためのURL GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサーバのURLまたは凡例画像URL (例: http://map.digital-earth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)</small>
フィーチャ参照 WMS URL	<input type="text" value="http://b.tile.openstreetmap.org"/> <small>フィーチャの詳細を取得するためのURL GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map.digital-earth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)</small>
メタデータURL	<input type="text"/> <small>メタデータが取得可能なURL</small>
データ帰属先	<input type="text"/> <small>マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述</small>

・ 電子国土 Web システムの設定

電子国土 Web システム (<http://portal.cyberjapan.jp/>) の地図を背景地図レイヤに追加して、地図画面への表示および印刷 (A4 サイズまで) することができます。

地図の種類から、「電子国土」を選び電子国土で表示するレイヤを、「電子国土基本図」、「電子国土基本図(オルソ画像)」、「東日本大震災被災直後写真」、「東日本大震災被災地復興写真」、「1988～90 年航空写真」、「1984～87 年航空写真」、「1979～83 年航空写真」、「1974～78 年航空写真」から選択することで、電子国土 Web システム表示に必要な設定が自動で入力されます。

データ帰属情報欄には e コミマップに対して発行された利用許諾号が設定され、地図画面と印刷時に表示されます。

地図の種類	<input type="radio"/> 標準WMS <input type="radio"/> GeoWebCache <input type="radio"/> TileCache <input type="radio"/> KaMapCache <input type="radio"/> OpenStreetMap <input type="radio"/> GoogleMaps <input checked="" type="radio"/> 電子国土 (国土地理院背景地図等データ利用規約に従ってご利用ください。測量法に基づく申請が必要な場合があります。) レイヤ選択:ズームレベルごとに表示可能なレイヤが異なります。 <input checked="" type="radio"/> 電子国土基本図 ※航空写真はズームレベル15から表示されます。 <input type="radio"/> 電子国土基本図(オルソ画像) <input type="radio"/> 東日本大震災被災直後写真 <input type="radio"/> 東日本大震災被災地復興写真 <input type="radio"/> 1988～90年航空写真 <input type="radio"/> 1984～87年航空写真 <input type="radio"/> 1979～83年航空写真 <input type="radio"/> 1974～78年航空写真 地図の種類を設定します。 タイルキャッシュ等を利用している場合は該当するものを選択してください
LAYERS	JAIS,BAFD1000K,BAFD200K,DJBMM,F(相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)
WMS Capabilities URL	<input type="text"/> WMS Capabilitiesを取得するためのURL
地図画像取得 WMS URL	JAIS,BAFD1000K,BAFD200K,DJBMM,FGD 地図画像を取得するためのURL GetMapリクエスト対応のWMSサービスのURL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
WMS地図画像フォーマット	<input type="text" value="image/png24"/> WMSで取得する地図画像のフォーマットを選択 (航空写真等のフルカラー画像は image/jpeg を選択)
凡例画像取得 WMS URL	<input type="text"/> 凡例画像を取得するためのURL GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサービスのURLまたは凡例画像URL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
フィーチャ参照 WMS URL	<input type="text"/> フィーチャの詳細を取得するためのURL GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサービスのURL (例: http://map.digitalearth-lab.net/wms?SERVICE=WMS&)
メタデータURL	<input type="text"/> メタデータが取得可能なURL
データ帰属先	国土地理院電子国土背景地図等データ利用許諾番号 2013-002号 マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述

電子国土を選択後、レイヤの種類を選択

1. レイヤ削除・移動・表示設定・凡例初期化

レイヤー一覧左のチェックボックスで選択されたレイヤに対して以下の処理を行います。

- ・ 削除： 選択したレイヤを削除します。
 へ移動： 背景地図レイヤではグループを作成できないため利用しません。
- ・ 先頭 上へ 下へ 最後： 選択したレイヤの表示の順番を変更します。
 上にあるレイヤが前に表示されます。
- ・ 表示・非表示設定： レイヤの地図起動時の表示・非表示を変更します。
- ・ 凡例初期化： 凡例画像を初期状態に戻します。
 凡例画像が正常に表示されない場合にもこれで修正します。

2. 設定

- ・ 設定： 相互運用サーバの設定や、各レイヤの名称等を変更します。
- ・ 削除： 相互運用サーバまたはレイヤを削除します。

3. 項目名称

登録する項目名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。

4. 初期表示状態

「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。

5. 地図タイル表示

地図画像を標準的なタイル画像(縦横 256 ピクセル)で取得する場合にここをチェックします。
チェックを外すと地図表示画面のサイズで地図画像を取得します。
タイルキャッシュサーバを利用している場合は必ずチェックをする必要があります。

6. 標準縮尺

レイヤの標準的な表示縮尺と、表示可能な最大の縮尺を指定します。

7. 表示可能縮尺

レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。

8. LAYERS

相互運用サーバ内のフィーチャタイプ ID をカンマ区切りで指定します。

9. WMS URL

相互運用サーバの URL を設定します。

10. WMS 画像フォーマット

相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。

11. データ帰属先

データの帰属先の情報を設定します。

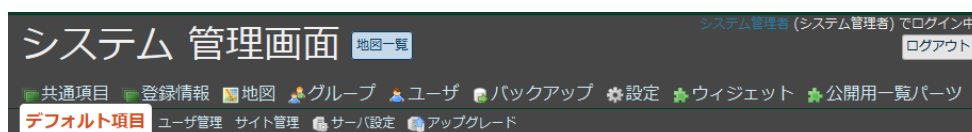
この文字列が地図上にクレジットとして表示されます。

12. 基本地図項目を追加

設定した内容で基本地図項目を追加します。

(21) 基本地図項目編集

基本地図項目の相互運用サーバの情報の設定を変更します。



基本地図項目 を編集

基本地図項目名称 (日本語表示名)	基盤地図情報25000 凡例や検索時に表示される項目名称です。	1
項目の説明		2
初期表示状態	<input type="checkbox"/> 表示する マップ起動時の項目表示状態。	3
透明度	1.0 項目の表示不透明度 (透明=0.0~不透明=1.0)	4
地図の種類	<input type="radio"/> 標準WMS <input checked="" type="radio"/> GeoWebCache <input type="radio"/> TileCache <input type="radio"/> KaMapCache <input type="radio"/> OpenStreetMap <input type="radio"/> GEOSPACE-CDS <input type="radio"/> GoogleMaps <input type="radio"/> 地理院タイル (地理院タイル利用規約に従ってご利用ください。測量法に基づく申請が必要な場合があります。) <input type="radio"/> XYZタイル (左上原点) 地図の種類を設定します。 タイルキャッシュ等を利用している場合は該当するものを選択してください	5
LAYERS	JpSmplBdr, PrefSmplBdr, AdmAreaBdr, Ct 相互運用リクエストLAYERS/パラメータに設定する FeatureTypeID (カンマ区切り)	6
WMS Capabilities URL	 WMS Capabilitiesを取得するためのURL	7
地図画像取得 WMS URL	http://www.finds.jp/ws/kiban25000wms.cgi?BGCOLOR=FFFFFF& 地図画像を取得するためのURL GetMapリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map01.ecom-plat.jp/wms?SERVICE=WMS&) XYZタイルのURL (例: http://map01.ecom-plat.jp/tile_id/{z}/{x}/{y}.png)	8
WMS地図画像フォーマット	image/png24 WMSで取得する地図画像のフォーマットを選択 (航空写真等のフルカラー画像は image/jpeg 選択)	9
凡例画像取得 WMS URL	http://www.finds.jp/ws/kiban25000wms.cgi?BGCOLOR=FFFFFF& 凡例画像を取得するためのURL GetLegendGraphicリクエスト対応のWMSサーバのURLまたは凡例画像URL (例: http://map01.ecom-plat.jp/wms?SERVICE=WMS&)	10
フィーチャ参照 WMS URL	http://www.finds.jp/ws/kiban25000wms.cgi?BGCOLOR=FFFFFF& フィーチャの詳細を取得するためのURL GetFeatureInfoリクエスト対応のWMSサーバのURL (例: http://map01.ecom-plat.jp/wms?SERVICE=WMS&)	11
メタデータURL	 メタデータが取得可能なURL	12
データ帰属先	(独) 農研機構 近畿中国四国農業研究センター (国土地理院 承認番号 平24情使、第794号) マップ上に表示される項目の著作権情報のクレジット文字列 リンクする場合は a タグでリンクを記述	13
標準縮尺	0 この項目を表示するのに標準的な縮尺 (拡大にこの縮尺で表示されます) (0=指定無し)	14
表示可能縮尺	0 項目の表示可能な縮尺。これより広域の縮尺ではレイヤを表示しません。 (0=制限無し)	15
項目を更新		16

1. **基本地図項目名称**
登録するレイヤ名称を記入します。凡例や検索時に表示されます。
2. **項目の説明**
項目の説明を入力します。
3. **初期表示状態**
「表示する」を選択することで、地図起動時に表示されます。
4. **透明度**
レイヤの透明度を指定します。
5. **地図の種類**
相互運用地図の種類を設定します。
Google マップ、OpenStreetMap、地理院タイルの地図サービスの場合はパラメータが自動設定されます。
地理院タイルは国土地理院への届出の必要性について規約等の文章へのリンクが表示されます。
6. **LAYERS**
相互運用サーバ内のフィーチャタイプ ID をカンマ区切りで指定します。
7. **WMS Capabilities URL**
WMS Capabilities を取得するための URL を設定します。
8. **地図画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
9. **WMS 画像フォーマット**
相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。
10. **凡例画像取得 WMS URL**
相互運用サーバから凡例画像を取得するための URL を設定します。
11. **フィーチャ参照 WMS URL**
相互運用サーバから地図画像を取得するための URL を設定します。
12. **メタデータ URL**
メタデータを取得するための URL を設定します。
13. **データ帰属先**
相互運用地図データの帰属先の情報を設定します。
この文字列が地図上にクレジットとして表示されます。
14. **標準縮尺**
レイヤの標準的な縮尺を指定します。
15. **表示可能縮尺**
レイヤが表示される最大縮尺を指定します。設定した値より広域では表示されません。
16. **項目を更新**
設定した内容で基本地図項目を更新します。

(22) クリアリングハウス検索 地図一覧

防災科学技術研究所が開発している災害リスク情報クリアリングハウスとの連携機能です。

クリアリングハウスに登録されている相互運用可能な地図を検索し、主題図項目、主題図(画像)項目、基本地図項目に追加をするためのフォームです。

検索条件を入力して相互運用可能な地図一覧を表示し、メタデータを確認し、地図の相互運用情報を元にレイヤとしてマップに追加することができます。

The screenshot shows the 'クリアリングハウスで地図を検索' (Search for maps in the Clearing House) form. It includes fields for keywords, search range (latitude/longitude), and a '並び替え' (Sort) dropdown. Below the form is a 'クリアリングハウスで地図を検索' button. The search results section shows two items, each with a thumbnail map, title, description, registration date, and keywords. Numbered callouts point to specific elements: 1 points to the keyword input field; 2 points to the search range input fields; 3 points to the '並び替え' dropdown; 4 points to the search results list; 5 points to the 'メタデータ表示' (Show metadata) link.

1. クリアリングハウス検索

クリアリングハウスから地図の検索を行うキーワードを入力します。

WMSCapabilitiesのURLを入力することで、クリアリングハウスを検索せずに直接地図を追加することもできます。

2. 検索範囲

範囲条件有効のチェックをすることで、クリアリングハウスで検索する範囲を指定します。

検索範囲は東西南北の緯度経度を指定します。

「地図で範囲設定」から地図上で範囲をドラッグして範囲の指定ができます。

3. 並び替え

検索結果一覧に表示される地図の並び順を指定します。

4. クリアリングハウスで地図を検索

クリアリングハウスの検索を行い、検索結果一覧に地図一覧を表示します。

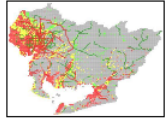
WMSCapabilitiesを指定した場合は、検索結果一覧に地図追加画面を表示します。

5. 検索結果一覧

クリアリングハウスの検索結果として地図一覧、メタデータ、地図追加画面を表示します。

(23) クリアリングハウス検索 メタデータ表示

防災科学技術研究所が開発している災害リスク情報クリアリングハウスとの連携機能です。
クリアリングハウスでの検索結果の相互運用可能な地図のメタデータを表示します。

データ刊行日	2008-04-07
データ刊行日	2008-04-07
データ刊行日	2008-04-07
データ刊行日	2008-04-07
要約	<p>このハザードマップは、愛知県に最も大きな被害を与えると想定される東海・東南海地震運動時における液状化危険度の予測値を表示したマップです。東海・東南海地震運動は、渥美・知多半島の多くで震度6強以上、東三河、濃尾平野で6弱以上の揺れが想定され、また、濃尾平野西部及び岡崎平野南部、豊橋平野において液状化の危険性が極めて高い。</p> 
目的	<p>前回調査から10年近くが経過し、高齢化や高度情報化等によって社会環境が大きく変化している。また、本県が実施した活断層調査等により地下構造や地盤構造についての新しいデータが蓄積され、また、平成13年度に国の中央防災会議による東海地震の震源域の見直しや震度分布の公表、地震調査研究推進本部による東南海地震の発生確率や震度分布の公表など、地震に関する最新の知見が示されている。そこで、最新の情報や予測技術を基本としてさまざまな角度からみた被害予測を実施し、今後の愛知県における地震対策の基礎資料を得ることを目的として、以下の地震被害予測調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然条件の調査・自然現象の予測・社会条件の調査及び被害の予測・災害危険度予測・災害シナリオの検討・地震防災対策の課題の整理・地震被害予測システムの構築
データの制約	
状態	完成
データ問い合わせ先	
データ範囲	範囲をマップで表示

クリアリングハウス検索結果の図一覧に戻ります

一覧に戻る

(24) クリアリングハウス検索 地図追加

防災科学技術研究所が開発している災害リスク情報クリアリングハウスとの連携機能です。

クリアリングハウスでの検索結果の地図一覧で地図を選択すると、地図を相互運用するための情報 (WMSCapabilities) を取得し、その情報の表示と変更を行い、マップのレイヤに追加します。

The screenshot shows a web form titled '地図情報' (Map Information). It contains the following fields and controls:

- 1**: '地図名称' (Map Name) field with the value '愛知県浸状化危険度ハザードマップ' and a '変更' (Change) button.
- 2**: '著作者情報' (Author Information) field with the value '愛知県防災局' and a '変更' (Change) button.
- 3**: '透明度' (Transparency) field with a checkbox for '半透明' (Semi-transparent).
- 4**: A group of three buttons: '主題図に追加' (Add to Theme Map), '主題図(画像)に追加' (Add to Theme Map (Image)), and '背景地図に追加' (Add to Background Map).
- 5**: '高度な設定' (Advanced Settings) section with a '[↓ 表示]' (Show) button.

1. 地図名称

地図相互運用情報 (WMSCapabilities) に記述された地図の名称です。

登録前に変更することが可能です。

マップにはこの名称でレイヤとして登録されます。

2. 著作権情報

相互運用地図データの著作権の情報を設定します。

3. 透明度

レイヤ表示時の地図画像の透明度を 50% に設定します。

4. レイヤ追加ボタン

相互運用地図を、主題図項目、主題図(画像)項目、基本地図項目に追加をするためのボタンです。

5. 高度な設定

地図相互運用情報に記述された、より高度な情報を表示します。

「高度な設定」をクリックすると、以下の情報が表示されます。

高度な設定
[↑隠す]

地図画像フォーマット: image/png

表示項目 (ドラッグ&ドロップで順序変更可能)

<input checked="" type="checkbox"/> すべて選択	
<input checked="" type="checkbox"/> hazardmap:h23000_001_2	避難所
<input checked="" type="checkbox"/> hazardmap:h23000_001_3	防災活動拠点
<input checked="" type="checkbox"/> hazardmap:h23000_001_4	第一次緊急輸送道路
<input checked="" type="checkbox"/> hazardmap:h23000_001_5	第二次緊急輸送道路
<input checked="" type="checkbox"/> hazardmap:h23000_001_1	液状化危険度

相互運用情報

WMSCapabilitiesURL:
http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDCatalogueService?service=CSW&version=2.0.2&REQUEST=GetRecordById&ElementSetName=full

WMSURL:
http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDProxyService?ID=160383&SERVICE=wms&

凡例URL:
http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDProxyService?ID=160383&SERVICE=wms&

参照URL:
http://info-bosai.jp/CatalogueService/servlet/NIEDProxyService?ID=160383&SERVICE=wms&

6. 地図画像フォーマット

相互運用サーバから取得する地図画像のフォーマットを選択します。

7. 表示レイヤ

マップのレイヤに追加する、相互運用地図のレイヤを選択します。
相互運用地図のレイヤの表示順はマウスのドラッグで変更できます。
主題図項目として追加する場合は、右側の名称が利用されます。
名称は追加前に変更可能です。

8. WMSCapabilitiesURL、WMSURL、凡例 URL、参照 URL

地図の相互運用を行うための相互運用サーバの URL が表示されます。

3.3 システム管理画面

システム管理画面は、e コミマップの基本的な設定を行うための管理画面であり、システム全体のユーザの管理や、サイトの管理、グループの管理を行います。

3.3.1 サーバ設定

サーバ全体の設定を行います。

サイト毎の設定ができる初期属性は、サイト作成時のデフォルト値として利用されます。

また、国際化対応に伴い、画面メッセージの表示言語を新規に追加し、言語リソースファイルにて、メッセージを修正して、e コミマップシステムにインポートすることができます。

(1) システム言語設定機能

The screenshot displays the 'eComiMap 管理画面' (Management Interface) with the 'サーバ設定' (Server Settings) tab selected. The interface includes a top navigation bar with links for '項目', '地図', 'グループ', 'ユーザ', 'バックアップ', '設定', and 'ウィジェット'. The 'サーバ設定' section contains several configuration areas:

- システム言語**: A dropdown menu set to '日本語'. Callout: 'システム言語を選択します'.
- Google Maps**: A checkbox 'Google Mapsを利用する' is checked. Callout: 'Google マップを利用する場合に選択します'.
- Googleマップ商用利用**: Fields for 'クライアントID' and '秘密鍵'. Callout: '商用利用の場合は、クライアントIDと秘密鍵を設定します'.
- Yahoo Maps**: A field for 'アプリケーションID'. Callout: 'Yahoo! Japan マップを利用する場合は、アプリケーションIDを設定します'.
- Geocoder**: Radio buttons for 'Googleジオコーダー' (selected) and '外部のジオコーダー'. A URL field is also present. Callout: '利用するジオコードを選択します'.
- 初期属性**: A JSON configuration field. Callout: '初期属性を設定します'.

Below the server settings is the '携帯電話投稿用メールサーバ設定' (Mobile Phone Submission Mail Server Settings) section:

- 携帯電話での投稿を利用する**: A checkbox '利用する' is checked. Callout: '携帯電話投稿用メールサーバを設定します'.
- 携帯投稿先メールアドレス**: A text field for the email address.
- メールサーバ**: A text field for the mail server.
- プロトコル**: A dropdown menu set to 'pop3'.
- メールアカウント**: A text field for the email account.
- パスワード**: A masked password field.

A '設定を更新' (Update Settings) button is located at the bottom left of the page.

(2) システム対応言語管理画面

システム対応言語管理画面では、e コミマップシステムで利用する言語の追加や、削除ができます。言語を追加する場合、半角文字で記される言語コードと、言語名を入力しなければなりません。

The screenshot shows the 'システム管理画面' (System Management Screen) with the 'システム対応言語管理' (System Corresponding Language Management) section active. The top navigation bar includes links for '項目', 'マップ', 'グループ', 'ユーザ', 'バックアップ', '設定', and 'ウィジェット'. The main content area features a table of existing languages and a form for adding new ones.

NO	言語コード	言語名	編集	エクスポート	インポート	データ初期化	削除
1	ja	日本語	編集	エクスポート	インポート	データ初期化	削除
2	en	English	編集	エクスポート	インポート	データ初期化	削除

Callouts and their descriptions:

- 言語コード、言語名を編集します (Edit language code and name)
- エクスポート画面に遷移します (Navigate to export screen)
- インポート画面に遷移します (Navigate to import screen)
- 全メッセージを削除します (Delete all messages)
- 言語を追加 (Add language)
- 言語を追加します (Add language)
- 言語コードを入力します (Enter language code)
- 言語名を入力します (Enter language name)
- 言語を削除します (Delete language)

(3) 言語リソースエクスポート機能

エクスポート対象言語として選択された言語の言語リソースをダウンロードします。ダウンロードを実行すると、e コミマップシステムで利用する全メッセージファイルがダウンロードされます。

The screenshot shows the 'eコミマップ1 管理画面' (eComiMap1 Management Screen) with the '言語リソースエクスポート' (Language Resource Export) section active. It features a dropdown menu to select the language for export and a 'ダウンロード' (Download) button.

Callout: エクスポートする言語を選択します (Select language to export)

(4) 言語リソースインポート機能

インポート対象言語として選択された言語の言語リソースを e コミマップシステムにインポートします。

言語リソースインポート

インポート対象言語を選択します

インポートする言語リソースファイルを選択します

インポート

同一キーが存在する場合、メッセージを置き換えるか、既存のメッセージを全部削除してインポートするか選択します

言語リソースファイルをアップロードしてください。

インポート言語選択

日本語
日本語
English

ファイル選択

Browse...

インポートオプション

☒ 追加および置き換え ☐ データクリア後に追加

※アップロードされたファイルはeコママップの言語リソースファイルではありません。
もう一度ファイルデータを確認してからもう一度アップロードしてください。

インポート

3.3.2 サイト管理

e コミマップサーバ内のサイトの一覧の表示と、新規サイトの追加を行います。

新規にサイトを作成する場合は、連携する e コミグループウェアの URL（連携していなければ e コミマップサーバの URL）を入力し、サイトで利用する地図の範囲を緯度経度またはマップから指定してください。

e コミマップの国際化対応に伴い、システム管理画面の言語選択とは独立した、サイト固有のメッセージ出力言語が設定できます。

ID	サイト名称	サイトURL	設定	削除
1	eコミマップ1	http://192.168.100.171/map/ → [サイト管理画面]	設定	削除
2	site2	http://192.168.100.171/map/ → [サイト管理画面]	設定	削除
3	防災サイト	http://192.168.100.171/map/ → [サイト管理画面]		削除

サイトを追加

サイト言語: English (dropdown menu with options: English, 日本語, Italiano)

サイト名 (日本語表示名):

サイトURL: サイトのトップページのURL

サイト範囲: 北: 46.78, 西: 120.20, 東: 151.35, 南: 22.93. [マップで範囲設定]

サイトを追加

e コミマップ内のサイト一覧

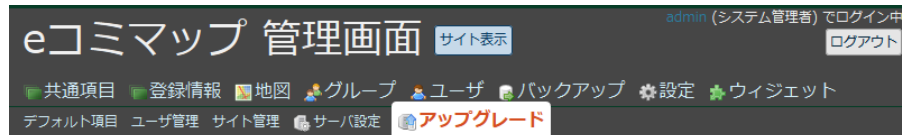
サイトの言語を設定します。

連携するサイト URL と範囲を入力してサイトを新規作成します

3.3.3 アップグレード

アップグレードパッケージを適用してシステムファイルが置き換わった時に、アップグレードしたバージョンに合わせたデータベース等のアップグレード処理を行います。

アップグレードの操作には、システム管理者権限が必要です。



アップグレード

現在のDBバージョン:2.0.9
2.1.0 にアップグレード可能です。

アップグレード実行

言語リソースアップグレード

前回の更新: 2013/04/09 10:08:10

言語リソースファイル日時: 2013/04/10 15:54:51

アップグレード実行

アップグレードが必要な場合の画面



アップグレード

アップグレードは必要ありません。

現在のDBバージョン:2.1.0

言語リソースアップグレード

前回の更新: 2013/04/09 10:08:10

言語リソースの更新はありません。

アップグレードが不要な場合の画面

3.3.4 デフォルト項目

サーバ全体で共通的に利用する項目を主題図項目、主題図（画像）項目、背景地図項目を管理することができます。

インストール時は、プリセットとしてクラウドで利用可能な地図（地理院タイル、Google マップ、OpenStreetMap、基盤地図 25000）が設定されます。

デフォルト項目は、クリアリングハウスの検索、WMSCapabilities、設定の入力により新規作成することができます。



地域基本マップ2 基本地図項目設定

削除

グループ内移動

先頭

上へ

下へ

最後

初期表示

表示

隠す

凡例初期化

凡例	ID	項目名	表示	標準縮尺 最大縮尺	透明度	項目設定	除外
	GeoSpace	地図 (GEOSPACE)	表示	0 1000000	1.0	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	[LAYERS] GeoSpace [WMS] http://geospace.service-section.com/geowebcache/service/wms?SERVICE=WMS& [WMS Format] image/png						
	GeoSpacePhoto	航空写真 (GEOSPACE)	表示	5000 500000	1.0	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	[LAYERS] GeoSpacePhoto [WMS] http://geospace.service-section.com/geowebcache/service/wms?SERVICE=WMS& [WMS Format] image/jpeg						
	wms1711	基盤地図情報25000	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	[LAYERS] JpSmplBdr, PrefSmplBdr, AdmAreaBdr, Cntr10, Cntr100, BldA, WL, RdEdg, RailCL [WMS] http://www.finds.jp/ws/kiban25000wms.cgi? [WMS Format] image/png						
	wms1738	Google地形	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	[LAYERS] PHYSICAL [WMS] PHYSICAL [WMS Format] image/png						
	wms1697	GoogleMap	表示	0 0	1.0	項目設定	除外
<input type="checkbox"/>	[LAYERS] DEFAULT [WMS] DEFAULT [WMS Format] image/png						

設定済の項目が表示されます。一覧から行と除外を行います。

設定済のデフォルト項目が表示されます。
一覧から各項目の編集と除外を行うことができます。